

2025年度（令和7年度）

歯科衛生士科Ⅱ部

時間割・シラバス

東京医学技術専門学校

歯科衛生士教育課程(3年制・Ⅱ部)

分野	教育内容	科目	方法	単位	時間	1年次		2年次		3年次	
						単位	時間	単位	時間	単位	時間
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	講義	1	16	1	16				
		化学	講義	1	16	1	16				
		情報科学Ⅰ	講義	1	16	1	16				
		情報科学Ⅱ	演習	1	16					1	16
	人間と生活	心理学	講義	1	16	1	16				
		英語	講義	2	30	2	30				
		ウェルネス概論	講義	1	16	1	16				
		予防医学	講義	1	16					1	16
		総合研究	講義	1	16			1	16		
小計				10	158	7	110	1	16	2	32
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	解剖学	講義	2	30	2	30				
		生理学	講義	2	30	2	30				
	歯・口腔の構造と機能	組織・発生学	講義	1	16	1	16				
		生化学	講義	1	16	1	16				
		口腔解剖学	講義	2	30	2	30				
		歯牙解剖学	講義	1	16	1	16				
		疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	講義	2	30	2	30			
	微生物学		講義	2	30	2	30				
	薬理学		講義	2	30	2	30				
	栄養学		講義	1	16	1	16				
	歯・口腔の健康と予防に関わる 人間と社会の仕組み	口腔衛生学	講義	2	30	2	30				
		衛生・公衆衛生学	講義	2	30	2	30				
		衛生行政	講義	1	16			1	16		
		社会福祉	講義	1	16			1	16		
		衛生統計学	講義	1	16			1	16		
	小計				23	352	20	304	3	48	0
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論Ⅰ	講義	1	16	1	16				
		歯科衛生士概論Ⅱ	講義	1	16			1	16		
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	講義	1	16	1	16				
		保存修復学	講義	1	16	1	16				
		歯内療法学	講義	1	16	1	16				
		歯周治療学	講義	1	16	1	16				
		歯科補綴学	講義	1	16	1	16				
		口腔外科学	講義	1	16	1	16				
		歯科矯正学	講義	1	16			1	16		
		小児歯科学	講義	1	16			1	16		
		歯科放射線学	講義	1	16			1	16		
		障害者歯科学	講義	1	16			1	16		
		高齢者歯科学	講義	1	16			1	16		
	歯科予防処置論	予防的歯石除去法Ⅰ	実習	2	60	2	60				
		予防的歯石除去法Ⅱ	実習	3	90			3	90		
		予防的歯石除去法Ⅲ	実習	1	30					1	30
		う蝕予防処置法Ⅰ	実習	1	30	1	30				
		う蝕予防処置法Ⅱ	実習	1	30			1	30		
	歯科保健指導論	歯科保健指導Ⅰ	実習	1	30	1	30				
		歯科保健指導Ⅱ	講義	2	60			2	60		
		歯科保健指導Ⅲ	講義	2	60					2	60
		歯科保健指導Ⅳ	講義	1	30					1	30
		栄養指導	講義	1	16	1	16				
	歯科診療補助論	歯科診療補助実習Ⅰ	実習	1	30	1	30				
		歯科診療補助実習Ⅱ	実習	2	60	2	60				
		歯科診療補助実習Ⅲ	実習	3	90			3	90		
		歯科材料学	講義	1	16	1	16				
		臨床検査学	講義	1	16			1	16		
		保険事務	講義	1	16			1	16		
		インプラント・審美歯科学	講義	1	16			1	16		
		介護・応急処置	講義	1	16			1	16		
	臨地実習(臨床実習含む)	臨地・臨床実習Ⅰ	実習	7	315			7	315		
		臨地・臨床実習Ⅱ	実習	13	585					13	585
	小計				59	1804	16	354	26	745	17
選択必修分野	必修 基礎講座	文章表現論	講義	1	16			1	16		
		礼儀作法	講義	1	16			1	16		
		歯科医学総論	講義	5	75					5	75
	小計				7	107	0	0	2	32	5
合計				99	2421	43	768	32	841	24	812

2025年度 行事予定表

歯科衛生士科Ⅱ部

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	火	前期授業開始 臨床実習Ⅲ期開始	1	木	創立記念日	1	日		1	火		1	金	科目終了試験	1	月	臨床実習Ⅳ期開始
2	水		2	金		2	月		2	水		2	土		2	火	
3	木	前期授業開始	3	土	憲法記念日	3	火		3	木		3	日		3	水	
4	金		4	日	みどりの日	4	水		4	金		4	月		4	木	
5	土	入学式・オリ	5	月	こどもの日	5	木		5	土		5	火		5	金	
6	日		6	火	振替休日	6	金		6	日		6	水	科目終了試験	6	土	
7	月	前期授業開始	7	水		7	土	科目終了試験	7	月		7	木		7	日	
8	火		8	木		8	日		8	火		8	金		8	月	
9	水		9	金		9	月		9	水		9	土		9	火	
10	木		10	土		10	火		10	木		10	日		10	水	
11	金		11	日		11	水		11	金		11	月	山の日	11	木	
12	土		12	月		12	木		12	土		12	火	振替休日	12	金	
13	日		13	火		13	金		13	日		13	水	夏季休暇	13	土	
14	月		14	水		14	土		14	月		14	木	夏季休暇	14	日	
15	火		15	木		15	日		15	火		15	金	夏季休暇	15	月	敬老の日
16	水		16	金		16	月		16	水		16	土	夏季休暇	16	火	科目終了試験
17	木		17	土		17	火		17	木		17	日		17	水	科目終了試験
18	金		18	日		18	水		18	金		18	月	夏季休暇	18	木	科目終了試験
19	土		19	月		19	木		19	土		19	火	科目終了試験 科目終了試験	19	金	
20	日		20	火	HBワクチン①	20	金		20	日		20	水	科目終了試験 科目終了試験	20	土	模擬試験Ⅰ
21	月		21	水		21	土		21	月	海の日	21	木	科目終了試験	21	日	
22	火		22	木		22	日		22	火		22	金	科目終了試験	22	月	
23	水		23	金		23	月		23	水		23	土	科目終了試験	23	火	秋分の日
24	木	健康診断 健康診断 健康診断	24	土		24	火	HBワクチン②	24	木		24	日		24	水	登院式(臨実オリ)
25	金		25	日		25	水		25	金		25	月		25	木	科目終了試験
26	土		26	月		26	木		26	土		26	火		26	金	科目終了試験
27	日		27	火		27	金		27	日		27	水		27	土	
28	月		28	水		28	土		28	月		28	木		28	日	
29	火	昭和の日	29	木		29	日		29	火		29	金	臨床実習Ⅲ期終了	29	月	後期授業開始
30	水		30	金		30	月		30	水		30	土		30	火	
			31	土					31	木		31	日				

2025年度 行事予定表

歯科衛生士科Ⅱ部

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水	臨床実習Ⅰ期開始	1	土		1	月		1	木	元日	1	日		1	日	国家試験
2	木	後期授業開始 後期授業開始	2	日		2	火		2	金	冬期休暇	2	月	総合学力試験Ⅱ	2	月	登校日
3	金		3	月	文化の日	3	水		3	土	冬期休暇	3	火		3	火	
4	土		4	火		4	木		4	日	冬期休暇終了	4	水		4	水	総合学力試験
5	日		5	水		5	金		5	月	臨床実習Ⅱ期開始	5	木		5	木	総合学力試験
6	月		6	木		6	土		6	火		6	金		6	金	
7	火		7	金		7	日		7	水		7	土		7	土	
8	水		8	土		8	月		8	木		8	日		8	日	
9	木		9	日		9	火	臨床実習Ⅳ期終了	9	金	模擬試験Ⅲ	9	月		9	月	
10	金		10	月		10	水		10	土		10	火		10	火	
11	土		11	火		11	木		11	日		11	水	建国記念日	11	水	
12	日		12	水		12	金		12	月	成人の日	12	木		12	木	
13	月	スポーツの日	13	木		13	土		13	火		13	金	科目終了試験	13	金	
14	火		14	金		14	日		14	水	模擬試験Ⅳ	14	土		14	土	卒業式
15	水		15	土		15	月		15	木		15	日		15	日	
16	木		16	日		16	火		16	金		16	月	総合核力試験Ⅲ 科目終了試験	16	月	
17	金		17	月		17	水		17	土		17	火		17	火	
18	土		18	火	HB抗体検査	18	木		18	日		18	水	卒業判定会議	18	水	
19	日		19	水		19	金		19	月	総合学力試験Ⅰ	19	木	卒業発表	19	木	
20	月		20	木		20	土		20	火		20	金		20	金	春分の日
21	火	HBワクチン③	21	金		21	日		21	水		21	土		21	土	
22	水		22	土		22	月		22	木		22	日		22	日	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火		23	金		23	月	天皇誕生日	23	月	
24	金		24	月	振替休日	24	水	臨床実習Ⅰ期終了	24	土		24	火		24	火	
25	土		25	火		25	木		25	日		25	水		25	水	
26	日		26	水		26	金	冬期休暇	26	月		26	木		26	木	進級発表 進級発表
27	月		27	木		27	土	冬期休暇	27	火	模擬試験Ⅴ	27	金	国試対策試験	27	金	
28	火		28	金		28	日		28	水		28	土		28	土	
29	水		29	土	模擬試験Ⅱ	29	月	冬期休暇	29	木	科目終了試験				29	日	
30	木		30	日		30	火	冬期休暇	30	金	科目終了試験				30	月	
31	金					31	水	冬期休暇	31	土	科目終了試験				31	火	臨床実習Ⅱ期終了

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 前期時間割

時限 時間	1 18:00 ～ 19:30				2 19:40 ～ 21:10				学年				
月	解剖学 角	歯周治療学 角	歯科診療補助Ⅰ 熊谷	薬理学 田村・相澤	解剖学 角	歯周治療学 角	薬理学 田村・相澤	1					
	文章表現論 石附	歯科保健指導Ⅱ 小川	予防の歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	歯科保健指導Ⅱ 小川	予防の歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	2					
	臨 床 実 習							3					
火	生物学 横瀬	化学 横瀬	栄養学 松田		心理学 田中	生化学 小林	栄養学 松田	1					
	小児歯科学 高橋	臨床検査学 小林	予防の歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	高齢者歯科学 下山	歯科保健指導Ⅱ 小川	予防の歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	2				
	臨 床 実 習							3					
水	生理学 塩崎	口腔解剖学 塩崎	歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷	保存修復学 半場・石原・羽毛田	生理学 塩崎	口腔解剖学 塩崎	歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷	保存修復学 半場・石原・羽毛田	1				
	障害者歯科学 小平	予防の歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口		予防の歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口			2				
	臨 床 実 習							3					
木	口腔衛生学 植野		歯科臨床概論 平野 他		歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷		微生物学 大島	歯科臨床概論 平野 他	歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷	1			
	歯科矯正学 八城	インプラント ・審美歯科学 積田	介護・応急処置 角	歯科衛生士概論Ⅱ 西ノ原	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	総合研究 西ノ原	歯科矯正学 八城	インプラント ・審美歯科学 積田	介護・応急処置 角	歯科衛生士概論Ⅱ 西ノ原	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	総合研究 西ノ原	2
	予防医学 齋藤・岡村・伊藤		歯科保健指導Ⅲ 小川	情報科学Ⅱ 伊藤（淳）	口腔機能管理学 下山		予防医学 岡村・伊藤	歯科保健指導Ⅲ 小川	情報科学Ⅱ 伊藤（淳）	口腔機能管理学 下山		3	
金	衛生・公衆衛生学 川戸	歯科保健指導Ⅰ 西ノ原	ウェルネス概論 戸田	歯科衛生士概論Ⅰ 西ノ原	衛生・公衆衛生学 川戸	歯科保健指導Ⅰ 西ノ原	ウェルネス概論 戸田	歯科衛生士概論Ⅰ 西ノ原	1				
	歯科診療補助実習Ⅲ 熊谷				歯科診療補助実習Ⅲ 熊谷				2				
	臨 床 実 習							3					
土	予 備 日								1 2 3				

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 後期時間割

時限	1					2					学年				
時間	18:00 ～ 19:30					19:40 ～ 21:10									
月	栄養指導 情報科学Ⅰ 松田 倉田		歯科診療補助実習Ⅱ 熊谷		予防の歯石除去法Ⅰ 田口	う蝕予防処置法Ⅰ 田口	栄養指導 情報科学Ⅰ 松田 倉田	歯科診療補助実習Ⅱ 予防の歯石除去法Ⅰ 熊谷 田口		う蝕予防処置法Ⅰ 田口	1				
	臨床実習										2				
	臨床実習		歯科医学総論			臨床実習		歯科医学総論			3				
火	英語 マシユー・ローダ		予防の歯石除去法Ⅰ 田口		う蝕予防処置法Ⅰ 田口		病理学 福井・鯨岡		予防の歯石除去法Ⅰ 田口		う蝕予防処置法Ⅰ 田口	1			
	臨床実習										2				
	臨床実習		歯科医学総論			臨床実習		歯科医学総論			3				
水	歯牙解剖学 塩崎		組織・発生学 塩崎		予防の歯石除去法Ⅰ う蝕予防処置法Ⅰ 田口 田口		歯牙解剖学 塩崎		組織・発生学 塩崎		予防の歯石除去法Ⅰ 田口	う蝕予防処置法Ⅰ 田口	1		
	臨床実習										2				
	臨床実習		歯科医学総論			臨床実習		歯科医学総論			3				
木	歯科補綴学 口腔外科学 伊藤 樺沢	歯科材料学 柴崎・須田	歯科診療補助実習Ⅱ 熊谷	予防の歯石除去法Ⅰ 田口	う蝕予防処置法Ⅰ 田口	歯科補綴学 口腔外科学 伊藤 樺沢	歯科材料学 柴崎・須田	歯科診療補助実習Ⅱ 熊谷	予防の歯石除去法Ⅰ 田口	う蝕予防処置法Ⅰ 田口	1				
	歯科放射線学 和光		衛生統計学 植野		衛生行政 植野		総合研究 西ノ原		歯科放射線学 和光		保険事務 伊藤（淳）		礼儀作法 久保田	総合研究 西ノ原	2
	予防の歯石除去法Ⅲ 西ノ原			歯科保健指導Ⅳ 小川		歯科医学総論		予防の歯石除去法Ⅲ 西ノ原		歯科保健指導Ⅳ 小川		歯科医学総論		3	
金	歯内療法学 吉田		歯科診療補助実習Ⅱ 熊谷		予防の歯石除去法Ⅰ 田口		歯内療法学 吉田		歯科診療補助実習Ⅱ 熊谷		予防の歯石除去法Ⅰ 田口		1		
	臨床実習										2				
	臨床実習		歯科医学総論			臨床実習		歯科医学総論			3				
	予備日										1 2 3				

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 前期時間割

第1学年

齒科衛生士科Ⅱ部

(2025年度入学生・16期生)

時限	1				2											
時間	18:00 ～ 19:30				19:40 ～ 21:10											
月	解剖学 角		歯周治療学 角		歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷		薬理学 田村・相澤		解剖学 角		歯周治療学 角		薬理学 田村・相澤			
火	生物学 横瀬		化学 横瀬		栄養学 松田				心理学 田中		生化学 小林		栄養学 松田			
水	生理学 塩崎		口腔解剖学 塩崎		歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷		保存修復学 半場・石原・羽毛田		生理学 塩崎		口腔解剖学 塩崎		歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷		保存修復学 半場・石原・羽毛田	
木	口腔衛生学 植野		歯科臨床概論 小幡 他		歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷				微生物学 大島		歯科臨床概論 小幡 他		歯科診療補助実習Ⅰ 熊谷			
金	衛生・公衆衛生学 歯科保健指導Ⅰ 川戸 小川			ウェルネス概論 戸田		歯科衛生士概論Ⅰ 西ノ原		衛生・公衆衛生学 川戸		歯科保健指導Ⅰ 小川		ウェルネス概論 戸田		歯科衛生士概論Ⅰ 西ノ原		
土	予 備 日															

2025年度

シラバス

1 年生

【前期】

- ①生物学
- ②化学
- ③心理学
- ④ウェルネス概論
- ⑤解剖学
- ⑥生理学
- ⑦生化学
- ⑧口腔解剖学
- ⑨微生物学
- ⑩薬理学
- ⑪栄養学
- ⑫口腔衛生学
- ⑬衛生・公衆衛生学
- ⑭歯科臨床概論
- ⑮歯科衛生士概論Ⅰ
- ⑯保存修復学
- ⑰歯周治療学
- ⑱歯科保健指導Ⅰ
- ⑲歯科診療補助実習Ⅰ

【後期】

- ①情報科学Ⅰ
- ②英語
- ③組織・発生学
- ④歯牙解剖学
- ⑤病理学
- ⑥歯内療法学
- ⑦歯科補綴学
- ⑧口腔外科学
- ⑨予防的歯石除去法Ⅰ
- ⑩う蝕予防処置法Ⅰ
- ⑪栄養指導
- ⑫歯科診療補助実習Ⅱ
- ⑬歯科材料学

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	生物学		担当教員	横瀬 勝美	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数 1

【 一般目標（G I O） 】

衛生士が知る基礎的生物学として、生命現象を細胞レベルから学び習得する。
そしてヒトの体の構造を学び代謝を知ることにより生命が維持されていることを習得する。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 生命について説明できる。
- 2) 細胞内小器官を知り、概説できる。
- 3) 単細胞生物、多細胞生物を知り、組織や器官などについて概説できる。
- 4) 生命の連続を知り、遺伝子について概説できる。
- 5) 刺激反応について概説できる。
- 6) 内部環境の保存について概説できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 8日	1. 生命とは	横瀬 勝美
2	4月15日	2. 生物は細胞からできている	横瀬 勝美
3	4月22日	3. 細胞内の細胞小器官の働き	横瀬 勝美
4	5月13日	4. 細胞の一生と固体の成り立ち	横瀬 勝美
5	5月20日	5. 生命の連続	横瀬 勝美
6	5月27日	6. 遺伝と遺伝子	横瀬 勝美
7	6月 3日	7. 刺激の需要と反応	横瀬 勝美
8	6月10日	8. 内部環境について	横瀬 勝美
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	配布プリント
成績評価法	定期試験、ポストテスト、レポートなどにより総合的に評価する

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	化学		担当教員	横瀬 勝美	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

身近な生活の中にある物質や起きている現象を化学的にとらえて考える力を養うと共に衛生士として必要な化学的知識を学ぶ。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 元素の結合を学び、放射線と元素の関係が理解できる。
- 2) 試薬・薬品の濃度を知り、調整することができる。
- 3) う蝕と酸・塩基を学び、う蝕予防について説明できる。
- 4) 人体を構成する元素を知り、糖質・タンパク質・脂質の構造と働きを説明できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月17日	1. 物質を構成する元素 2. 周期表と化学結合 3. 放射線と元素	横瀬 勝美
2	6月24日	4. 物質の状態（気体・液体・固体・溶液）	横瀬 勝美
3	7月 1日	5. 試薬溶液濃度	横瀬 勝美
4	7月 8日	6. う蝕と酸化反応（酸・塩基）	横瀬 勝美
5	7月15日	7. 歯科修復物の金属 8. 歯科材料と元素	横瀬 勝美
6	7月22日	9. 食品とエネルギー 10. 人体を構成する元素	横瀬 勝美
7	7月29日	11. 糖質の構造と働き 12. タンパク質の構造と働き	横瀬 勝美
8	8月 5日	13. 脂質の構造と働き	横瀬 勝美
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	配布プリント
成績評価法	定期試験、ポストテスト、レポートなど総合的に成績に評価する

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	心理学		担当教員	田中 健一	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

今まで短期・長期は別にして給与をいただく仕事をした経験があるはずです。その仕事を通じて、たくさんの人と接してきました。その中には今後も一緒にいきたい人・もう関わり合いたくない人がいたはずです。あなたが思うようには相手は思っていない、相手の思っているようには私は思わない。心理学とは、なぜこのような相違（相手との行き違い）が生じるかを考えます。相手に対して生じているあなたのもやもやを、心理学では言語化することにより、相手を理解し、自分の中で納得化することをこの授業では目指します。

【 到達目標（S B O） 】

皆さんの実体験を通じ、なりたい自分・なりたくない自分はどのようなものかを考えていきます。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 8日	心理学概論 社会で起こっていることを心理学で分析し、対処法を考える	田中 健一
2	4月15日	具体例 1	田中 健一
3	4月22日	具体例 2	田中 健一
4	5月13日	具体例 3	田中 健一
5	5月20日	具体例 4	田中 健一
6	5月27日	具体例 5	田中 健一
7	6月 3日	具体例 6	田中 健一
8	6月10日	よりよく生きる為に	田中 健一
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	必要に応じて、授業時に提示予定
成績評価法	定期試験・日常点
備考・実務経験等	<u>病院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	ウェルネス概論		担当教員	戸田 真司
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

ウェルネスは、身体の側面だけでなく、より広義に総合的に健康を捉えた概念であり、病気や障害の有無でなく、人の生きがいや尊厳といった総合的な見地から健康を考え、人生を支える望ましい状態を目指すために、個人が持つ潜在能力を最大限に生かす機能を統合したものである。本科目では、ウェルネスに繋がる健康と予防医学の概念、健康づくりや集団を対象とした疾患予防、歯科口腔領域における疾患の診断と治療法などについて理解を深め、口腔疾患予防及び歯と口の健康づくりへのアプローチに必要な知識について学修する。

【 到達目標（S B O） 】

- ①ウェルネスの概念や定義、ウェルネスに関する用語を説明できる。
- ②地域保健の概要および地域歯科口腔保健施策について説明できる。
- ③疫学の定義や主な研究手法を説明できる。④主な歯科疾患の疫学を説明できる。
- ⑤地域包括ケア、オーラルフレイル、口腔機能低下症を説明できる。
- ⑥災害時における保健医療の概要と歯科口腔保健の取組みを説明できる。
- ⑦国際歯科保健について説明できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7月25日	ウェルネス総論（1）	戸田 真司
2	7月25日	ウェルネス総論（2）	戸田 真司
3	8月 1日	地域保健における歯科口腔保健施策（1）	戸田 真司
4	8月 1日	地域保健における歯科口腔保健施策（2）	戸田 真司
5	8月 8日	歯科口腔保健の疫学と統計	戸田 真司
6	8月 8日	主な歯科の疫学	戸田 真司
7	8月29日	高齢社会を支える歯科口腔保健	戸田 真司
8	8月29日	様々な分野における歯科保健（災害歯科保健・国際歯科保健）	戸田 真司
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	教科書の指定はありません。参考書は講義時に紹介します。
成績評価法	定期試験により評価を行う（出席状況等を加味する）
備考・実務経験等	<u>歯科医院・医療施設にて歯科医師として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☒ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野					
授業科目名	解剖学		担当教員	角 祥太郎	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数	2

【 一般目標（G I O） 】

解剖学は医学・歯学の基礎となる重要な学問である。

歯科衛生士として医療にたずさわる上で、人体を構成する諸器官の形態と構造、それらの働きを理解する事は必須である。

人体を構成する諸器官の形態や構造について学ぶ。

人体を総合的に理解するために形態や構造と機能との関連についても深く理解する。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 全身の構造と機能を理解する。
- 2) 口腔の構造と機能を理解する。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 7日	解剖学総論：解剖学を学ぶにあたって、身体各部の名称、主要な器官の名称、主要な器官の名称及び位置	角 祥太郎
2	4月 7日	骨格系1：骨、軟骨、靱帯、関節、形状（身体の支持、運動、内臓の保護、造血）	角 祥太郎
3	4月14日	骨格学2：頭・頭部の骨、体幹と体肢の筋の名称と分布	角 祥太郎
4	4月14日	筋系1：骨格筋・心筋・平滑筋 筋・腱・筋の収縮（各部の運動、姿勢の保持、内臓の保護、熱の産生）	角 祥太郎
5	4月21日	筋系2：頭部・頭部の筋、体幹と体肢の筋の名称と分布	角 祥太郎
6	4月21日	消化器系：消化管と腺の名称と分布 舌（摂取した食物の分解・吸収、細胞のエネルギーを生産）	角 祥太郎
7	4月28日	呼吸器系：気道系と肺の名称と分布（酸素の供給と二酸化炭素の除去）	角 祥太郎
8	4月28日	泌尿器系：腎臓と尿路系の名称と分布（老廃物の排出と血液の水、電解質と酸塩基平衡の調節）	角 祥太郎
9	5月12日	生殖器系：男性・女性生殖器の名称と分布（子孫を生み出し種の保存を確保）	角 祥太郎
10	5月12日	内分泌系：内分泌の名称と分布 ホルモン（身体の活動を調節）	角 祥太郎
11	5月19日	心血管系1：心臓、血管とリンパ系（血液・リンパ液を運搬するポンプと管）	角 祥太郎
12	5月19日	心血管系2：心臓、血管、リンパ管の名称と分布 頭部・頸部の血管	角 祥太郎
13	5月26日	神経系1：脳・脊髄と神経（感覚、高次精神機能、腺や筋の活動制御、恒常性の維持）	角 祥太郎
14	5月26日	神経系2：中枢神経と末梢神経の分布と名称 頭部の神経	角 祥太郎
15	6月 2日	感覚器系まとめ：感覚器 味覚、一般知覚	角 祥太郎

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学（医歯薬出版）、テキストおよびスライド投影
成績評価法	定期試験、小テスト、出席状況、提出物を総合的に評価
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☒ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野					
授業科目名	生理学		担当教員	塩崎 一成	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数	2

【 一般目標（G I O） 】

歯科医学の基礎として、正常な人体の全身機能とこれを調節する機構を理解する。
また、生命維持に必要な機能と被刺激性機能の基礎知識を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

- (1)人体組織の構造と機能について説明できる。(2)血液と循環について説明できる。
(3)呼吸について説明できる。(4)筋の基本構造と機能について説明できる。
(5)神経の構成と機能について説明できる。(6)感覚機能について説明できる。
(7)消化吸収と排泄について説明できる。(8)内分泌について説明できる。
(9)体温について説明できる。(10)生殖機能について説明できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 9日	生理学総論	塩崎 一成
2	4月 9日	血液と循環Ⅰ：血液成分の特徴と機能	塩崎 一成
3	4月16日	血液と循環Ⅱ：心臓、血管系	塩崎 一成
4	4月16日	呼吸Ⅰ：呼吸、胸郭の構造と喚起のしくみ、肺気量と換気量	塩崎 一成
5	4月23日	呼吸Ⅱ：ガス交換、血液中の酸素・二酸化炭素の運搬、呼吸の調節	塩崎 一成
6	4月23日	筋Ⅰ：筋の構造と機能	塩崎 一成
7	4月30日	筋Ⅱ：筋の運動	塩崎 一成
8	4月30日	神経Ⅰ：基本機能と中枢神経系	塩崎 一成
9	5月 7日	神経Ⅱ：体性神経と自律神経	塩崎 一成
10	5月 7日	体温：体温調節	塩崎 一成
11	5月14日	体温：体温調節	塩崎 一成
12	5月14日	消化吸収および排泄Ⅰ：消化器の構成と機能	塩崎 一成
13	5月21日	消化吸収および排泄Ⅱ：人体各部位からの排泄	塩崎 一成
14	5月21日	内分泌：内分泌器官とホルモン	塩崎 一成
15	5月28日	生殖：生殖と性周期関連ホルモン	塩崎 一成

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学
成績評価法	定期試験・小テスト・出席状況・レポート・受講態度
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	生化学		担当教員	小林 隆志
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

生命現象を分子レベルで理解するため、生体を構成する物質の構造や種類・性質およびその代謝などの知識を修得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 細胞を構成する物質の種類およびその性質を説明できる。
- 2) 糖質の構造・特性およびその代謝を説明できる。
- 3) 脂質の構造・特性およびその代謝を説明できる。
- 4) 蛋白質の構造・特性およびその代謝を説明できる。
- 5) 核酸の構造・特性およびその代謝を説明できる。
- 6) 酵素の特性およびその種類を列挙できる。7) ホルモン・ビタミンを列挙し、その作用を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月17日	生命・細胞を構成する物質	小林 隆志
2	6月24日	糖質の構造とその性質	小林 隆志
3	7月 1日	脂質の構造とその性質	小林 隆志
4	7月 8日	蛋白質の構造とその性質	小林 隆志
5	7月15日	核酸の構造とその性質	小林 隆志
6	7月22日	代謝（糖・脂質など）	小林 隆志
7	7月29日	ホルモン・ビタミンの種類とその作用	小林 隆志
8	8月 5日	総まとめ・演習	小林 隆志
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	医歯薬出版社 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝
成績評価法	定期試験で行う。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	口腔解剖学		担当教員	塩崎 一成
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

口腔解剖学は医学の第一歩として学ぶ重要な基礎科目である。本講義では人体、特に頭頸部を構成する骨、筋、神経および脈管の形態および構造を習得し、個々の形態学的事象を理解し、習得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 人体の構成について概説できる。
- 2) 頭蓋の各部名称とその形態的特徴について説明できる。
- 3) 頭蓋を構成する各骨の各部名称を説明できる。
- 4) 神経の分類と脳神経が通る骨の名称を説明できる。
- 5) 頭頸部の筋群（表情筋、咀嚼筋、舌骨上筋・舌骨下筋など）について概説し、その構造と機能を説明できる。
- 6) 脳神経（三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経など）について概説し、の走行と機能を説明できる。
- 7) 頭頸部の動脈系（外頸動脈：顎動脈、顔面動脈、舌動脈、浅側頭動脈など）について概説し、走行を説明できる。
- 8) 頭頸部の静脈、リンパの走行を説明できる。
- 9) 口腔内臓（唾液腺、舌）、咽頭の構造と機能を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	5月28日	口腔解剖学総論	塩崎 一成
2	6月 4日	骨学Ⅰ：頭部の土台となる骨（15種23個）：構成する骨の名称と構造	塩崎 一成
3	6月 4日	骨学Ⅱ：主に口腔を形成する骨（上顎骨、口蓋骨）	塩崎 一成
4	6月11日	骨学Ⅲ：主に口腔を形成する骨（下顎骨、舌骨）と顎関節	塩崎 一成
5	6月11日	骨学Ⅳ：骨学学習（実際に骨の模型を使用し、骨を三次元的に理解する）	塩崎 一成
6	6月18日	筋学Ⅰ：顔面（表情）筋と咀嚼筋	塩崎 一成
7	6月18日	筋学Ⅱ：嚥下の筋（舌骨上筋群、舌骨下筋群）	塩崎 一成
8	6月25日	筋学Ⅲ：嚥下の筋（舌筋群、軟口蓋の筋群、咽頭筋群）	塩崎 一成
9	6月25日	頭頸部の脈管Ⅰ（脈管系の概要と総頸動脈）	塩崎 一成
10	7月 2日	頭頸部の脈管Ⅱ（外頸動脈、特に口腔に分布する動脈）	塩崎 一成
11	7月 2日	頭頸部の脈管Ⅲ（内頸動脈とリンパ）	塩崎 一成
12	7月 9日	神経学Ⅰ：脳神経	塩崎 一成
13	7月 9日	神経学Ⅱ：重要な脳神経（三叉神経、顔面神経、舌咽神経、舌下神経）	塩崎 一成
14	7月16日	神経学Ⅲ：頭頸部に分布する脊髄神経と自律神経	塩崎 一成
15	7月16日	口腔内臓：口腔前庭と固有口腔	塩崎 一成

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	医歯薬出版：歯科衛生士学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 学研書院：口腔顎顔面解剖ノート
成績評価法	定期試験・小テスト・出席状況・レポート・受講態度
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	微生物学		担当教員	大島 朋子
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

口腔の疾患のほとんどは微生物が原因もしくは引き金となって発症し、歯科衛生士の日常業務の中には、それら口腔疾患に関する予防措置や保健指導が含まれている。したがって微生物学は歯科衛生士にとって必要不可欠な学問である。特に、病原微生物や常在菌叢について、およびそれに対する生体防御反応としての免疫反応について熟知している必要がある。また、近年、社会的問題となっている耐性菌による院内感染、AIDS、ウイルス性肝炎、新型コロナウイルス感染症などに関しても、診療の場における滅菌・消毒に携わる立場上、十分な微生物学的知識が求められる。これらの要求に応えられるよう、幅広い内容を習得することを目標とする。

【到達目標（SBO）】

1) 微生物を定義し、分類できる。2) 微生物の性状を列挙し、概説できる。3) 滅菌・消毒を定義し、方法・適用を列挙できる。4) 感染症について概説し、その種類を列挙できる。5) 感染症の治療法である化学療法を説明し、その種類・適応を列挙できる。6) 微生物の病原因子を列挙できる。7) 免疫機構について概説できる。8) 免疫と疾患の関係を説明できる。9) 病原微生物の特徴と疾患を列挙できる。10) 口腔常在微生物叢およびプラークを説明できる。11) う蝕と微生物について説明できる。12) 歯周病と微生物について説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月10日	微生物学入門、微生物の分類	大島 朋子
2	4月17日	微生物の一般性状、観察方法	大島 朋子
3	4月24日	滅菌と消毒	大島 朋子
4	5月 8日	化学療法	大島 朋子
5	5月15日	感染症	大島 朋子
6	5月22日	微生物の病原因子	大島 朋子
7	5月29日	免疫学総論	大島 朋子
8	6月 5日	免疫学各論	大島 朋子
9	6月12日	アレルギーと疾患	大島 朋子
10	6月19日	病原微生物各論（グラム陽性細菌）	大島 朋子
11	6月26日	病原微生物各論（グラム陰性細菌）	大島 朋子
12	7月 3日	病原微生物各論（ウイルス、真菌、その他）	大島 朋子
13	7月10日	口腔環境と口腔常在微生物叢およびプラーク	大島 朋子
14	7月17日	口腔感染症（う蝕）	大島 朋子
15	7月24日	口腔感染症（歯周病）	大島 朋子

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「微生物学 第2版」（医歯薬出版）・プリント ポイントチェック 歯科衛生士国家試験対策① 第5版（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験・レポートなどを加味する）により総合的に評価する。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	薬理学		担当教員	田村・相澤
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

生体の生理学的機能を基盤として薬物の生体に対する作用を理解し、医療従事者として薬理学についての基礎知識を修得する。さらに医薬品の薬理作用や作用機序を理解して臨床で汎用される薬物を安全かつ効果的に活用するために必要な知識を修得する。

【到達目標（SBO）】

1. 薬の作用機序、薬物動態、薬理作用に影響する因子、医薬品の剤形、保管方法および処方箋と薬事関連法規について説明できる。2. 全身麻酔薬などの中枢神経系作用薬や自律神経系作用薬などの末梢神経系作用薬の種類や特長とその薬理作用について概説できる。3. 呼吸器系、循環器系作用薬およびホルモン、ビタミン剤の種類や特長と薬理作用について概説できる。4. 止血薬などの血液系作用薬および抗炎症薬、病原微生物作用、消毒薬の種類や特長と薬理作用について概説できる。5. 悪性腫瘍薬、免疫系作用薬、漢方薬の種類や特長と薬理作用について概説できる。6. 歯科薬剤の種類や特長とその薬理作用について理解し概説できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月30日	薬理学総論 1（薬物の作用機序、薬物動態、薬物の適用方法、治療係数）	田村幸彦
2	7月 7日	薬理学総論 2（薬理作用に影響する因子、医薬品開発、ジェネリック医薬品）	田村幸彦
3	7月14日	薬理学総論 3（服薬指導、薬物の取り扱い、処方箋）	田村幸彦
4	7月14日	薬理学総論 4（医薬品医療機器等法、日本薬局方）	田村幸彦
5	7月28日	ビタミン剤・ホルモン剤（糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬）	田村幸彦
6	7月28日	末梢神経系作用薬（自律神経系作用薬）	田村幸彦
7	8月 4日	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、抗不安薬、抗てんかん薬など）	田村幸彦
8	8月 4日	循環器系作用薬（降圧薬など）、呼吸器系作用薬（鎮咳薬など）	田村幸彦
9	8月25日	止血薬（酸化セルロースなど）、血液凝固阻止薬（ワルファリンなど）	田村幸彦
10	8月25日	免疫系作用薬（シグナル伝達阻害薬など）	田村幸彦
11	9月 1日	悪性腫瘍治療薬（アルキル化薬、微小管阻害薬、分子標的薬など）	田村幸彦
12	9月 1日	抗炎症薬（NSAID, SAID, 解熱鎮痛薬、消炎酵素剤）、局所麻酔薬	田村幸彦
13	9月 8日	う蝕予防薬、歯内療法治療薬、歯周疾患治療薬、口腔粘膜治療薬	相澤ゆう子
14	9月 8日	消毒薬（フェノール類、酸化剤、ハロゲン化合物など）	相澤ゆう子
15	9月22日	化学療法薬（抗感染症薬）、漢方薬	田村幸彦

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生士学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3「薬理学」第2版 医歯薬出版
成績評価法	期末の定期試験で総括的評価を行う。レポート、出席状況、授業態度等を総括的評価に加味する

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☒ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	栄養学		担当教員	松田 依果	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数 1

【 一般目標（G I O） 】 栄養は生物が生命活動を営む上で外部から摂取する必要がある物質及びその働きのことを指す。バランスよく適切な栄養を摂取しなければ健康な状態を維持することができなくなる。本科目ではどのような栄養素があるか、それら栄養素の必要量について学ぶ。					
【 到達目標（S B O） 】 1. 栄養素の種類とその特徴を理解できる。 2. 食事摂取基準に示されたエネルギーと栄養素の各指標を説明できる。 3. 各栄養素の栄養学的意義・役割を理解できる。 4. 水分代謝、エネルギー代謝を理解できる。					
【 授業内容 】					

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	8月26日	栄養の基本的知識 栄養素の役割、消化と吸収	松田 依果
2	8月26日	日本人の食事摂取基準 エネルギー・栄養素の各指標	松田 依果
3	9月 2日	栄養素の働き① 炭水化物(種類、働き、必要量、給源)	松田 依果
4	9月 2日	栄養素の働き② たんぱく質(種類、働き、必要量、給源)	松田 依果
5	9月 9日	栄養素の働き③ 脂質(種類、働き、必要量、給源) ・小テスト	松田 依果
6	9月 9日	栄養素の働き④ ビタミン(種類、働き、欠乏症、給源)	松田 依果
7	9月16日	栄養素の働き⑤ ミネラル(種類、働き、欠乏症、給源)	松田 依果
8	9月16日	栄養素の働き⑥ 水分(働き、代謝) ・全体のまとめ	松田 依果
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー： 授業内で質問等を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝（医歯薬出版）
成績評価法	筆記試験（小テスト含む）、課題を加味しにより総合的に判断する。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	口腔衛生学		担当教員	植野 正之
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

人々の歯・口腔の健康に関するセルフケア能力を高めるために必要な教育的役割や、地域における関係諸機関等との調整能力を持った歯科衛生士となるために必要な知識、技術、態度を習得する。

【到達目標（SBO）】

- 健康、疾病、障害の概念を説明できる。
- 疾病の自然史と第一次、第二次、第三次予防を説明できる。
- 歯・口腔の正常像および異常を説明できる。
- 歯・口腔の発育および機能を説明できる。
- 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
- う蝕および歯周疾患の発症機序と予防法を説明できる。
- 不正咬合およびその他の口腔疾患の予防を説明できる。
- 人の健康行動を変容できる健康教育および保健指導を説明できる。
- 日本における健康づくり対策を説明できる。
- ライフステージにおける歯科保健を説明できる。
- 災害時の歯科保健医療活動の重要性を説明できる。
- 国際歯科保健活動における日本の役割を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月10日	口腔衛生学の意義、歯と口腔の機能	植野 正之
2	4月17日	歯・口腔の正常像、歯の形成・萌出・交換	植野 正之
3	4月24日	全身と歯・口腔の発育、歯・口腔の異常	植野 正之
4	5月 8日	歯と口腔の不潔物、歯・口腔の清掃	植野 正之
5	5月15日	歯磨き類、う蝕発病の仕組み	植野 正之
6	5月22日	う蝕の予防法、フッ化物によるう蝕予防	植野 正之
7	5月29日	フッ化物の毒性・代謝、フッ化物の応用	植野 正之
8	6月 5日	う蝕予防処置、歯周疾患の発生要因	植野 正之
9	6月12日	歯周疾患の発病機構、歯周疾患の予防	植野 正之
10	6月19日	その他の口腔疾患の予防、不正咬合の予防	植野 正之
11	6月26日	歯科保健指導と健康教育、歯・口腔の健康と予防	植野 正之
12	7月 3日	日本の健康づくり対策、地域歯科保健	植野 正之
13	7月10日	母子歯科保健、学校歯科保健	植野 正之
14	7月17日	産業歯科保健、成人・高齢者歯科保健	植野 正之
15	7月24日	国際歯科保健、精神歯科保健	植野 正之

※オフィスアワー 1限と2限の間、9階講師控室にて質問を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学、医歯薬出版
成績評価法	定期試験にレポートなどを加味し総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科大学附属病院・医療機関に歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	衛生・公衆衛生学		担当教員	川戸 貴行	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数 2

【 一般目標（G I O） 】

健康にかかわる生活環境と公衆衛生活動の基礎を学び、国民の健康の保持増進の担い手として社会に貢献するための基本的知識を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

疾病構造ならびに人口構造の変化と公衆衛生活動の変遷を関連付けて説明できる。
環境因子が健康に及ぼす影響を説明できる。
疫学の目的を理解し、疫学研究の種類を弁別できる。
地域保健の概念と我が国の保健行政について説明できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月11日	衛生学総論	川戸 貴行
2	4月11日	疫学総論、記述疫学	川戸 貴行
3	4月18日	分析疫学	川戸 貴行
4	4月18日	人口統計	川戸 貴行
5	4月25日	感染症対策	川戸 貴行
6	4月25日	食品と健康	川戸 貴行
7	5月 2日	生活習慣病対策	川戸 貴行
8	5月 2日	地域保健総論・母子保健	川戸 貴行
9	5月 9日	学校保健	川戸 貴行
10	5月 9日	産業保健	川戸 貴行
11	5月23日	成人・高齢者保健	川戸 貴行
12	5月23日	介護保健、障害者保健	川戸 貴行
13	5月30日	精神保健、国際保健、災害保健	川戸 貴行
14	5月30日	環境問題、水と健康、廃棄物処理	川戸 貴行
15	6月6日	温熱・空気環境と健康	川戸 貴行

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	口腔衛生学2024（一世出版）
成績評価法	定期試験を基本とし、授業時に行う口頭による試問を加味する。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科臨床概論		担当教員	平野泰正 他4名
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

国民の歯科医療に対するニーズが高まり、超高齢化社会へと向かう今、歯科医療現場における要望はますます多様化、高度化し、それに伴って歯科医療は、質的向上、ならびに医療連携等における幅広い対応を求められるようになってきている。そのため、歯科衛生士の役割は近年ますます重要性を帯びてきているが、ここでは歯科臨床の現場と机上学習とのギャップを極力小さくし、将来的に歯科衛生士としての誇りとやりがいを持って、臨床現場で活躍できる医療人となるための種を植える。

【到達目標（SBO）】

歯科医療全般に関して、今後3年間で学習する内容の概略を、大まかに理解し、これに続く各論の学習の導入を容易にする。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7月31日	I 編1章2章 歯科診療とは、歯科診療所	上條 達央
2	7月31日	II 編2章 2. 小児歯科 7. 歯科補綴	上條 達央
3	8月 7日	I 編3章 歯科診療所における業務	小幡 宏一
4	8月 7日	II 編2章 6. 歯周治療 8. 障害者歯科・高齢者歯科	小幡 宏一
5	8月21日	II 編2章 4. 口腔外科	平野 泰正
6	8月21日	II 編2章 3. 歯科矯正	平野 泰正
7	8月28日	II 編1章 ライフステージと歯科診療 2章1. 歯科診療で行うこと	天川 智央
8	8月28日	II 編2章 5. 歯科保存治療・歯周治療	天川 智央
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	医歯薬出版 歯科衛生士のための歯科臨床概論
成績評価法	出席状況、筆記試験により成績評価を行う
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	歯科衛生士概論Ⅰ		担当教員	西ノ原 陽子	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	1 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

歯科衛生業務を実践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 自分の目指す歯科衛生士像が説明でき、そのためには何が必要かわかる
- 2) 歯科衛生学の定義を述べることができる
- 3) 歯科衛生士の歴史について概要を説明できる
- 4) 予防の概念が説明できる
- 5) 保健行動の理論が説明できる
- 6) 歯科衛生活動の過程を説明できる

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月19日	歯科衛生士について（個人ワーク）	西ノ原 陽子
2	4月19日	歯科衛生士について（集団ワーク）	西ノ原 陽子
3	9月 5日	歯科衛生学とは	西ノ原 陽子
4	9月 5日	歯科衛生の歴史	西ノ原 陽子
5	9月12日	歯科衛生士法と歯科衛生業務	西ノ原 陽子
6	9月12日	歯科衛生士の業務の展開	西ノ原 陽子
7	9月19日	歯科衛生士に必要な心構えと知識・技能	西ノ原 陽子
8	9月19日	歯科衛生士概論Ⅰ まとめ	西ノ原 陽子
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」 医歯薬出版
成績評価法	定期試験を基本とし、確認テスト・授業態度などを加味して評価します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	保存修復学		担当教員	半場/羽毛田/石原
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

歯科診療の補助と歯科保健指導を行うために、歯の硬組織疾患、歯髄疾患および根尖性歯周組織疾患の病態・症状・処置法について理解するとともに、適切な介助業務を遂行するために必要な修復材料および使用器材・薬剤に対する基礎的な事項を修得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯の硬組織の常態、歯の硬組織疾患の病因・病態について説明する。
- 2) 歯の硬組織疾患の診断および治療計画の立案に必要な診査項目を説明する。
- 3) 修復処置における歯科衛生士の役割と業務を説明する。
- 4) 修復処置の臨床的意義と方法について説明する。
- 5) 修復処置に必要な器具の使用法および目的を説明する。
- 6) 修復処置に必要な歯科材料の特性、成分および構造を説明する。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	8月27日	保存修復学とは、歯の硬組織疾患（う蝕、非う蝕性硬組織疾患）	半場 秀典
2	8月27日	保存修復治療の概要（検査含む）、前準備	半場 秀典
3	9月 3日	歯の切削、象牙質・歯髄の保護、窩洞	羽毛田 真佑花
4	9月 3日	コンポジットレジン修復① （コンポジットレジンの組成、種類、接着メカニズム）	羽毛田 真佑花
5	9月10日	コンポジットレジン修復②、ガラスアイオノマーセメント修復 （使用器材、手順）	石原 和奈
6	9月10日	メタルインレー修復、セラミック・コンポジットレジンインレー修復、 CAD/CAMインレー修復	石原 和奈
7	9月17日	ラミネートベニア修復、合着材および接着材、補修修復	羽毛田 真佑花
8	9月17日	歯の漂白、保存修復における歯科衛生士の役割、講義のまとめ	半場 秀典
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー 授業終了直後 講義室内または講師控室で実施

教科書・参考書	教科書：歯科衛生士講座 保存修復学・歯内療法学（永末書店） 参考書：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）
成績評価法	・プレテスト，ポストテスト ・筆記試験
備考・実務経験等	<u>歯科大学病院に歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野		
授業科目名	歯周治療学			担当教員	角 祥太郎	授業形態	☐ 講義 ☒ 実習
開講時期	☒ 前期		☐ 後期	学 年	1 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

正常な歯周組織の構造と機能を理解して歯周病の原因、歯周治療の実際についても学び、歯周治療における歯科衛生士の業務をしっかりと身につけることを目的とする。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 歯周組織、歯周病、歯周治療について十分に理解を深めることができる。
- 2) 歯科衛生士の業務の重要性について理解できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月 2日	歯周治療学と歯科衛生士の業務	角 祥太郎
2	6月 9日	正常な歯周組織の構造と機能	角 祥太郎
3	6月 9日	歯周病の分類と原因	角 祥太郎
4	6月16日	歯周病の予防と全身疾患との関係	角 祥太郎
5	6月16日	歯周病の診査と診断	角 祥太郎
6	6月23日	歯周治療の実際	角 祥太郎
7	6月23日	歯周外科	角 祥太郎
8	6月30日	メンテナンスとSPT	角 祥太郎
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 授業終了後、質問を受けます

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「歯周病学」（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験、小テスト、出席状況などで総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科保健指導Ⅰ		担当教員	西ノ原 陽子
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、歯科保健指導に必要な知識、技術および態度を習得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯科保健指導の概要を説明できる。
- 2) 歯・口腔の正常と異常が把握できる。
- 3) 歯ブラシの種類と特徴を説明できる。
- 4) 口腔清掃状態の指標（O' LearyのPCR）が把握できる。
- 5) 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。
- 6) 各種ブラッシング方法を実施できる。
- 7) 歯磨剤・洗口剤の特徴と使用方法を説明できる。
- 8) 補助的清掃用具の種類と特徴、適応を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	5月16日	歯科保健指導の概要・考え方①（保健指導の概念・生活行動）	西ノ原 陽子
2	5月16日	歯科保健指導の概要・考え方②（健康の概念）	西ノ原 陽子
3	6月 6日	歯科保健指導の基礎知識①（歯・口腔および全身状態の把握）	西ノ原 陽子
4	6月13日	歯科保健指導の基礎知識②（対象者からの情報収集・伝達法）	西ノ原 陽子
5	6月13日	口腔清掃法と口腔清掃用具（歯ブラシ）	西ノ原 陽子
6	6月20日	口腔清掃補助用具（デンタルフロス・歯間ブラシ・タフトブラシ等）	西ノ原 陽子
7	6月20日	歯磨剤・洗口剤・保湿剤	西ノ原 陽子
8	6月27日	モリタ 電動歯ブラシセミナー①	西ノ原 陽子
9	6月27日	モリタ 電動歯ブラシセミナー②	西ノ原 陽子
10	7月 4日	歯垢染色剤、口腔清掃指標（O' LearyのPCR）	西ノ原 陽子
11	7月 4日	各種刷掃法	西ノ原 陽子
12	7月11日	染め出し・各種刷掃法実習①	西ノ原 陽子
13	7月11日	染め出し・各種刷掃法実習②	西ノ原 陽子
14	7月18日	口腔清掃器具（電動歯ブラシ等）	西ノ原 陽子
15	7月18日	まとめ	西ノ原 陽子

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「保健生態学（第3版）」（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験、出席状況、授業・実習態度、提出物などを総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科診療補助実習Ⅰ		担当教員	熊谷 祐菜
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎知識、技術および態度を習得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 相対的・絶対的医行為について分類、明記できる
- 2) チーム医療や共同動作の意義を理解し、模倣できる
- 3) 歯科診療器具の名称・用途を明記できる
- 4) 一般器具の把持法を理解し、模倣できる
- 5) フォーハンドシステムの基本動作ができる
- 6) 各種衛生材料が作成できる
- 7) 消毒・滅菌が理解できる
- 8) 手指消毒が適切にできる
- 9) 印象材の分類や取り扱いができる
- 10) 患者配慮も考慮した口腔消毒～ユニット動作ができる
- 11) 模型材、石膏の特徴と混水比について実習を通して理解し、明記できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7 月 7 日	総論【講義】診療補助行為	熊谷 祐菜
2	7 月12日	共同動作Ⅰ①【講義】チーム医療とポジショニング	熊谷 祐菜
3	7 月12日	共同動作Ⅰ②【講義】フォーハンドデンティストリー	熊谷 祐菜
4	7月23日	感染予防/滅菌・消毒【講義】感染防止策/各種滅菌消毒の種類と特徴	熊谷 祐菜
5	7月23日	歯科医療器材/器具【講義】一般器具	熊谷 祐菜
6	7 月30日	歯科診療器材/器具【講義】3Wayシリンジ・バキューム操作	熊谷 祐菜
7	7 月30日	【基礎実習】共同動作/フォーハンドデンティストリー/手指衛生・消毒/衛生材料	熊谷 祐菜
8	8月6日	【相互実習】歯科用ユニット名称と役割/動作と消毒	熊谷 祐菜
9	8月6日	【相互実習】歯科用ユニット名称と役割/動作と消毒	熊谷 祐菜
10	9月4日	共同動作Ⅱ【相互実習】口腔内消毒～洗浄	熊谷 祐菜
11	9月4日	共同動作Ⅱ【相互実習】口腔内消毒～洗浄	熊谷 祐菜
12	9月11日	印象材Ⅰ【講義】印象材種類/分類	熊谷 祐菜
13	9月11日	印象材Ⅰ【講義/基礎実習】アルジネート印象	熊谷 祐菜
14	9月18日	模型材Ⅱ【講義】模型材種類/混水比	熊谷 祐菜
15	9月18日	模型材Ⅱ【基礎実習】石膏各種扱いと硬化速度実験	熊谷 祐菜

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版(医歯薬出版)/最新歯科衛生士教本「歯科機器」「歯科材料」(医歯薬出版)/その他各項目に必要な教本
成績評価法	定期試験・提出物・出席状況・学習態度などを総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	情報科学Ⅰ		担当教員	倉田 一範
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

1. 医療分野において必要とされる、情報処理の基礎的な概念、技術を理解する。
2. ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの基本構成および動作原理を理解する。
3. 情報セキュリティに関する最新動向と職場でのとるべき行動原則について理解する。
4. 表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本的な操作方法を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

1. 復習を必ず行い理解を深めること。
2. 積極的に授業に取り組むこと。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	11月10日	医療とコンピュータ 表計算演習①	倉田 一範
2	11月10日	情報科学の基礎 符号化と情報量 表計算演習②	倉田 一範
3	11月17日	情報科学の基礎 アルゴリズム 表計算演習③	倉田 一範
4	11月17日	ハードウェア コンピュータの基本構造と動作原理 表計算演習④	倉田 一範
5	12月 1日	ソフトウェア OS、言語、データベース プレゼンテーション演習①	倉田 一範
6	12月 1日	ソフトウェア アプリケーション、wwwによる情報検索 プレゼンテーション演習②	倉田 一範
7	12月 8日	ネットワークの構成とインターネットサービス プレゼンテーション演習③	倉田 一範
8	12月 8日	情報セキュリティと個人情報保護 プレゼンテーション演習④	倉田 一範
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後TV会議システム並びにチャットにて質問を受けます。

教科書・参考書	一般情報処理教育(J07-GE) (情報処理Vol.49 No7. july 2008), 配布資料
成績評価法	定期試験(ソフトウェア演習等の成果内容を加味する)により総合的に評価する。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	英語		担当教員	RHODA MATTHEW	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☐ 前期 ☒ 後期		学 年	1 学年	単位数	2

【一般目標（GIO）】

近年、日本に滞在する外国人が増え、多くの医療機関においては、日本語を話せない患者さんが訪れることも決して少なくはありません。このような状況に応じて、歯科衛生士も英語で患者さんと接しなければならない機会が増えています。本授業では、こうした現状に対応できるよう実際の、基礎的なコミュニケーションを学びます。病院内で使用される単語、会話を身に付け、外国人の患者さんに対して、スムーズかつ適切な対応ができるようになることを目指します。

【到達目標（SBO）】

- 専門的な用語が頻出するので、授業には必ず辞書（紙辞書もしくは電子辞書）を持参のこと。携帯電話・スマートフォンの辞書の使用は認めない。
- 授業中は英語のリズムやアクセントになれるため、集中してヒアリングを心がけること。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	9月30日	ガイダンス／ 1. Making an appointment by Telephone	Rhoda
2	10月 7日	Requests for Medicine	Rhoda
3	10月14日	Review（復習テスト）①(1～2)／3. Emergency Appointments	Rhoda
4	10月21日	National Health Insurance	Rhoda
5	10月28日	Review（復習テスト）②(3～4)／5. Asking the Patient to Describe Symptoms	Rhoda
6	11月 4日	Asking the Medical History	Rhoda
7	11月11日	Review（復習テスト）③(5～6)／7. Periodontal Disease	Rhoda
8	11月18日	Periodontal Disease / 8. Pregnancy	Rhoda
9	11月25日	Review（復習テスト）④(7)／ 8. Pregnancy / 9. Why do I Need a Cleaning?	Rhoda
10	12月 2日	Pregnancy / 9. Why do I Need a Cleaning? Review（復習テスト） 10. Informed Consent	Rhoda
11	12月 9日	Review ⑤（復習テスト）(8～9) / 10. Informed Consent	Rhoda
12	12月16日	Review 10. Informed Consent	Rhoda
13	1月13日	Review ⑥（復習テスト）(10)	Rhoda
14	1月20日	(1～10) Review Booklet	Rhoda
15	1月27日	Review⑥ Practice Test (1～10)／試験対策	Rhoda

オフィスアワー 教員授業終了後9階講師控室にて質問を受けます。

教科書・参考書	最新 歯科衛生士教本 歯科英語
成績評価法	定期試験（復習テストや授業参加する態度を加味する）により総合的に評価する。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	組織・発生学		担当教員	塩崎 一成	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☐ 前期 ☒ 後期		学 年	1 学年	単位数	1

【一般目標（GIO）】

人体を構成する各組織について構成細胞の種類と微細構造、細胞の分化・構築・機能を理解する。各組織がどのように組み合わされて器官を構成しているか、構成単位は何か、器官相互の共通性と特殊性、器官の構造と機能との関係を理解する。特に口腔領域において歯と歯周組織の発生、構造および機能を理解する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 人体を構成する組織および器官について説明できる。
- 2) 人体の発生について説明できる。
- 3) 口腔発生について説明できる。
- 4) 歯の組織について説明できる。
- 5) 歯周組織について説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月29日	組織発生学総論	塩崎 一成
2	10月29日	歯と歯周組織	塩崎 一成
3	11月 5日	歯の発生	塩崎 一成
4	11月 5日	エナメル質	塩崎 一成
5	11月12日	象牙質	塩崎 一成
6	11月12日	セメント質、歯髄	塩崎 一成
7	11月19日	歯根膜、歯槽骨、歯肉	塩崎 一成
8	11月19日	口腔軟組織	塩崎 一成
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：メールで質問を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生士学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験（小テストやレポート等を加味する）により総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯牙解剖学		担当教員	塩崎 一成
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

人類の歯の起源、および人の永久歯と乳歯の基本形態について学び、顎模型を用いて立体的にその特徴をとらえる。さらに歯の形態の意味を機能解剖学的ならびに個体・系統発生学的に考察する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯の構造、方向用語、歯種、交換様式などの基本事項を説明できる。
- 2) 永久歯の歯種ごとの構造と特徴を説明できる。
- 3) 乳歯の歯種ごとの構造と特徴を説明できる。
- 4) 歯の異常について説明できる。
- 5) 歯列と咬合について説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月 1日	歯牙解剖学総論	塩崎 一成
2	10月 1日	永久歯〈切歯、犬歯〉	塩崎 一成
3	10月 8日	永久歯〈小臼歯〉	塩崎 一成
4	10月 8日	永久歯〈大臼歯〉	塩崎 一成
5	10月15日	乳歯〈乳切歯、乳犬歯〉	塩崎 一成
6	10月15日	乳歯〈乳臼歯〉	塩崎 一成
7	10月22日	歯の異常	塩崎 一成
8	10月22日	歯列と咬合	塩崎 一成
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：メールで質問を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験（小テストやレポート等を加味する）により総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	病理学		担当教員	福井・鯨岡
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	2

【 一般目標（G I O） 】

病気の本態，原因，経過などの知識を習得し，病気に関する知識を体系化して理解し，口腔内に発生する種々の病変における臨床所見および肉眼的，組織学的所見など基本的な事項を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 病理学の概略、意義について説明することができる
- 2) 全身の臓器組織に現れる病変の原因と成り立ちを説明できる
- 3) 歯科・口腔外科で扱われる疾患について、病気の本態、原因、経過などの知識を習得し、病気に関する知識を体系化して理解することができる

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	9月30日	病理学序論・病因論、遺伝性疾患と奇形	福井 怜
2	10月 7日	循環障害	鯨岡 聡子
3	10月14日	代謝性障害と退行性病変	鯨岡 聡子
4	10月21日	増殖と修復	鯨岡 聡子
5	10月28日	炎症	鯨岡 聡子
6	11月 4日	免疫応答異常	鯨岡 聡子
7	11月11日	腫瘍	鯨岡 聡子
8	11月18日	歯の発育異常・歯の損傷と着色、付着物	鯨岡 聡子
9	11月25日	う蝕	鯨岡 聡子
10	12月 2日	象牙質・歯髄複合体の病態	鯨岡 聡子
11	12月 9日	歯周組織の病態	鯨岡 聡子
12	12月16日	口腔粘膜の病変	鯨岡 聡子
13	12月23日	口腔領域の腫瘍・口腔癌	鯨岡 聡子
14	1月 6日	顎骨の病変・唾液腺の病変	鯨岡 聡子
15	1月13日	口腔領域の奇形・口腔粘膜の加齢変化	鯨岡 聡子

オフィスアワー：授業終了後、質問を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学(医歯薬出版)
成績評価法	定期試験に出席点、小テストや必要によりレポート提出などの成績を総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科大学附属病院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☒ 専門分野 ☐ 選択必修分野					
授業科目名	歯内療法学		担当教員	吉田 隆	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☐ 前期 ☒ 後期		学 年	1 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

臨床歯科医学である本科目は、歯科衛生士業務の1つである「歯科診療補助」と密接に関わっている。歯科衛生士にとって臨床歯科医学は直接必要がないと思われがちだが、歯科診療補助の際、何故このような処置を行うのか、何故この薬剤を応用するのか等の知識は当然必要である。それらのことを理解するために、臨床歯科医学である本科目を学習してほしい。そしてそのことは換言すれば、歯科保健医療を担うチームの一員としての自覚を身につけることに繋がると考えている。

【 到達目標（S B O） 】

本科目では、全8回の講義が終了した時点で、以下に示す項目について各々出来るようになって欲しいと考えている。

- 1) 歯内療法処置ならびに歯内療法対象疾患を説明する。
- 2) 歯髄疾患ならびに根尖性歯周炎の診断および治療計画の立案に必要な診察項目を説明する。
- 3) 歯内療法処置における歯科衛生士の役割と業務を説明する。
- 4) 歯内療法処置に必要な器具・材料を列挙し使用法を説明する。
- 5) 歯内療法処置に用いる薬剤の特徴、成分、使用目的を説明する。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月 3日	本科目の授業展開について解説、歯内療法学概要解説、診査法	吉田 隆
2	10月 3日	歯髄疾患	吉田 隆
3	10月10日	根尖性歯周炎、歯髄疾患ならびに根尖性歯周炎の処置方針	吉田 隆
4	10月10日	歯髄保存療法	吉田 隆
5	10月17日	歯髄除去療法	吉田 隆
6	10月17日	根管処置(その1)	吉田 隆
7	10月24日	根管処置(その2)	吉田 隆
8	10月24日	外科的歯内療法処置、歯内療法時の偶発症、その他	吉田 隆
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー 教員授業終了後9階講師控室にて質問を受けます。

教科書・参考書	永末書店：歯科衛生士講座 保存修復学・歯内療法学 本学作成：令和7年度歯内療法学講義ノート
成績評価法	筆記試験により成績を評価するが、最終的には出席状況等の平常点も加味した総合評価。
備考・実務経験等	<u>歯科大学病院にて歯科医師として歯科医療従事</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科補綴学		担当教員	伊藤 裕通
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

歯科補綴学は、歯および歯列の欠損のある患者に、補綴装置を用いて形態・機能および審美の回復を図り、健康寿命の延伸とQOLの維持・向上を目的とした歯科医学である。

補綴方法および補綴装置を理解し、補綴治療の準備や補助、さらに歯の欠損を拡大しないための予防や補綴装置に対するプラークコントロールなどを学習する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯の欠損や喪失に続いて生じる弊害を理解し、歯科補綴治療の意義、目的などの全体像を把握すること。
- 2) 教科書の口絵や図、スライドなどにより視覚的に学習すること。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月 2日	補綴治療の意義と目的	伊藤 裕通
2	10月 2日	歯列および顎口腔系の形態と機能	伊藤 裕通
3	10月 9日	咬合とその関連事項	伊藤 裕通
4	10月 9日	クラウンの分類	伊藤 裕通
5	10月16日	クラウンの臨床ステップの概説	伊藤 裕通
6	10月16日	ブリッジの役割、構造	伊藤 裕通
7	10月23日	部分床義歯の役割、構造	伊藤 裕通
8	10月23日	全部床義歯、特殊な口腔内装置を用いる治療	伊藤 裕通
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

オフィスアワー：授業終了後10～15分程度9Fで質問を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「咀嚼障害・咬合異常Ⅰ 歯科補綴」第2版 医歯薬出版
成績評価法	授業中の態度、出席、定期試験（小テストやレポート等を加味する）により総合して判断する
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	口腔外科学		担当教員 樺沢 勇司	授業形態 ☑講義 □実習
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年 1 学年	単位数 1

【一般目標（GIO）】

- ・チーム医療に必要な、口腔外科・歯科麻酔科分野の歯科衛生士国家試験合格に必要な基礎的知識を習得する。
- ・全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を理解する。
- ・患者急変時の初期対応に必要なバイタルサインの意味や処置器材を理解する。

【到達目標（SBO）】

- ・口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類、診断、治療について説明できる。
- ・口腔外科でのチーム医療・多職種連携について説明できる。
- ・口腔がん患者を中心とした、周術期の口腔健康管理について説明できる。
- ・バイタルサインをはじめ、患者の全身的管理について説明できる。
- ・局所麻酔・全身麻酔・精神鎮静法の種類、適応、薬理学作用、施術の注意点を説明できる。
- ・歯科治療時の偶発症、患者急変時対応について説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月30日	1編 顎・口腔粘膜疾患と口腔外科 1章 口腔外科の概要、 2章 顎・口腔領域の先天異常と発育異常	樺沢 勇司
2	10月30日	3章 顎・口腔領域の損傷および機能障害、顎関節疾患、4章 口腔粘膜の病変	樺沢 勇司
3	11月 6日	5章 顎・口腔領域の化膿性炎症疾患、 6章 顎・口腔領域の嚢胞性疾患	樺沢 勇司
4	11月 6日	7章 顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍および腫瘍類似疾患、8章 唾液腺疾患、9章 口腔領域の神経疾患	樺沢 勇司
5	11月13日	7章 顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍および腫瘍類似疾患、8章 唾液腺疾患、9章 口腔領域の神経疾患	樺沢 勇司
6	11月13日	10章 口腔外科診療の実際	樺沢 勇司
7	11月20日	2編 歯科治療と歯科麻酔 1章 歯科治療における歯科麻酔と患者管理、2章 局所麻酔、 3章 精神鎮静法	樺沢 勇司
8	11月20日	3編 口腔外科・歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかかわり、検査・診断時業務、 歯科衛生士が行なう術前・術後のケアと器材管理	樺沢 勇司
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：授業内で質問を受けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「口腔外科・歯科麻酔」 歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版
成績評価法	定期試験にて判定するが、講義中の質疑応答も評価の参考とする。
備考・実務経験等	<u>歯科大学病院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	予防的歯石除去法Ⅰ		担当教員	田口 菜穂子
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。

【到達目標（SBO）】

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1) 歯科予防処置の概念と内容を概説できる | 2) 歯科予防処置の法的位置づけを説明できる |
| 3) 歯周病予防を概説できる | 4) 正常な歯・歯周組織と口腔の機能を説明できる |
| 5) 歯周病の原因を説明できる | 6) スケーラーの種類と使用目的を説明できる |
| 7) シックル型スケーラーを操作できる | 8) 歯面清掃・歯面研磨の意義を説明できる |
| 9) 歯面研磨剤の種類と用途を説明できる | |

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	12月 3日	歯科予防処置の基礎知識 1	田口 菜穂子
2	12月10日	歯科予防処置の基礎知識 2	田口 菜穂子
3	12月10日	歯科予防処置の基礎知識 3	田口 菜穂子
4	12月24日	歯科予防処置の基礎知識 4	田口 菜穂子
5	12月24日	歯科予防処置の基礎知識 5	田口 菜穂子
6	1月 7日	小テスト	田口 菜穂子
7	1月15日	器具の種類と操作 1	田口 菜穂子
8	1月19日	器具の種類と操作 2	田口 菜穂子
9	1月20日	スケーラーの基本操作 1	田口 菜穂子
10	1月20日	スケーラーの基本操作 2	田口 菜穂子
11	1月22日	シックル型スケーラー操作 机上 1	田口 菜穂子
12	1月23日	スケーラーの操作 実技チェック	田口 菜穂子
13	1月26日	シックル型スケーラー操作 前歯部 1	田口 菜穂子
14	1月26日	シックル型スケーラー操作 前歯部 2	田口 菜穂子
15	1月27日	シックル型スケーラー操作 前歯部 3	田口 菜穂子

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
16	1月27日	シックル型スケーラー操作 前歯部 4	田口 菜穂子
17	2月 2日	シックル型スケーラー操作 前歯部実技チェック	田口 菜穂子
18	2月 2日	シックル型スケーラー操作 机上 2	田口 菜穂子
19	2月 3日	シックル型スケーラー操作 臼歯部 1	田口 菜穂子
20	2月 3日	シックル型スケーラー操作 臼歯部 2	田口 菜穂子
21	2月 4日	シックル型スケーラー操作 臼歯部 3	田口 菜穂子
22	2月 4日	シックル型スケーラー操作 臼歯部実技チェック 1	田口 菜穂子
23	2月 5日	シックル型スケーラー操作 臼歯部 4	田口 菜穂子
24	2月 5日	シックル型スケーラー操作 臼歯部 5	田口 菜穂子
25	2月 6日	シックル型スケーラー操作 臼歯部 6	田口 菜穂子
26	2月 6日	シックル型スケーラー操作 臼歯部実技チェック 2	田口 菜穂子
27	2月 9日	歯面研磨 講義	田口 菜穂子
28	2月 9日	歯面研磨 基礎実習	田口 菜穂子
29	2月10日	まとめ	田口 菜穂子
30	2月10日	実技試験	田口 菜穂子
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版社） 保健生態学（医歯薬出版社） 歯周病学（医歯薬出版社）
成績評価法	定期試験、実技試験、小テスト、出席状況、授業態度、提出物などを総合的に評価
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	う蝕予防処置法Ⅰ		担当教員	田口 菜穂子
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識・技術・および態度を習得する

【到達目標（SBO）】

- う蝕予防を概説できる
- う蝕の原因と進行、予防法を説明できる
- フッ化物歯面塗布法の使用薬剤の種類と濃度、取扱いを説明できる
- フッ化物歯面塗布法の術式と実施上の注意点を説明できる
- フッ化物洗口法の使用薬剤と濃度、取扱いを説明できる
- フッ化物洗口法の対象年齢と方法を説明できる
- フッ化物配合歯磨剤の種類と特徴を説明できる
- フッ化物配合歯磨剤の年齢に応じた使用量、使用方法を説明できる
- フッ化ジアンミン銀塗布法の適応と使用薬剤の特徴を説明できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	11月26日	う蝕予防処置法	田口 菜穂子
2	11月26日	う蝕の原因	田口 菜穂子
3	12月 3日	う蝕の分類	田口 菜穂子
4	12月17日	フッ素の基礎知識	田口 菜穂子
5	12月17日	フッ化物の毒性と急性中毒への対応	田口 菜穂子
6	1月 7日	悪心・嘔吐発現量の算出	田口 菜穂子
7	1月14日	フッ化物歯面塗布法	田口 菜穂子
8	1月14日	フッ化物歯面塗布法（トレイ法実習）	田口 菜穂子
9	1月15日	綿球中のフッ化物量確認実習	田口 菜穂子
10	1月19日	小テスト	田口 菜穂子
11	1月21日	フッ化物洗口法	田口 菜穂子
12	1月21日	フッ化物洗口法	田口 菜穂子
13	1月22日	歯科領域におけるフッ化物応用	田口 菜穂子
14	1月23日	フッ化ジアンミン銀塗布法	田口 菜穂子
15	2月12日	まとめ	田口 菜穂子

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版社） 保健生態学（医歯薬出版社）
成績評価法	定期試験、小テスト、出席状況、授業態度、提出物などを総合的に評価
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	栄養指導		担当教員	松田 依果
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	1 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

歯科衛生士は、歯科衛生士の名称を用いて歯科保健指導を業とすることができると歯科衛生士法に規定されている。本講義では、歯・口腔と栄養の関連性について理解し各年代に適切な栄養指導ができる技術や知識を修得する。

【到達目標（SBO）】

- 1, 現在の食生活の問題点と望ましい食生活を理解する
- 2, 乳幼児の段階的な栄養摂取のあり方を理解する
- 3, ライフステージごとの栄養摂取の問題点を理解する
- 4, 甘味食品のう蝕誘発性について理解し、適切な指導ができる
- 5, 歯科保健指導の必要性等を理解したうえで行動変容に関連する理論を習得しその実践ができる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	9月29日	栄養指導の意義	松田 依果
2	9月29日	ライフステージ別栄養 乳児期	松田 依果
3	10月 6日	ライフステージ別栄養 幼児期	松田 依果
4	10月 6日	ライフステージ別栄養 学童期	松田 依果
5	10月13日	ライフステージ別栄養 成人期（妊娠期含む）	松田 依果
6	10月13日	ライフステージ別栄養 高齢期	松田 依果
7	10月20日	食生活と健康（国民健康・栄養調査 他）	松田 依果
8	10月20日	望ましい食生活 食生活指針・食事バランスガイド	松田 依果
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

オフィスアワー：授業内で質問等を受けます。

教科書・参考書	栄養と代謝、歯科予防処置論・歯科保健指導論
成績評価法	定期試験およびレポート（小テスト）等により総合的に評価します。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分		☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野		☒ 専門分野		☐ 選択必修分野				
授業科目名		歯科診療補実習Ⅱ			担当教員		熊谷 祐菜		授業形態		☐ 講義 ☐ 実習	
開講時期		☐ 前期 ☒ 後期			学 年		1 学年		単位数		1	

【一般目標（GIO）】

【講義】歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を習得する

【実習】歯科勤務未経験者は、講義や課題で習得/考察したことを踏まえ、各項目の実技を模倣する
歯科勤務経験者は、習得した知識を現在の手技に取り入れ積極的な意見交換、患者配慮を学び、
現在の実技をさらに習熟させる

【到達目標（SBO）】

- 1) ①～⑨の項目において、特徴を説明でき、手順に沿った器材を準備することができる。
①口腔内写真 ②エックス線 ③ラバーダム防湿 ④寒天印象材 ⑤ゴム質印象材
⑥合着材・接着材 ⑦補綴 ⑧印象材・模型材 ⑨医療安全・救急救命

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月31日	印象材【基礎実習】片顎印象採得	熊谷 祐菜
2	10月31日	模型材【基礎実習】片顎印象石膏注入	熊谷 祐菜
3	11月7日	合着材【講義】各種特徴・取り扱い	熊谷 祐菜
4	11月7日	接着材【講義】各種特徴・取り扱い	熊谷 祐菜
5	11月14日	合着材【基礎実習】	熊谷 祐菜
6	11月14日	接着材【基礎実習】	熊谷 祐菜
7	11月21日	保存修復時診療補助【講義/基礎実習】充填	熊谷 祐菜
8	11月21日	保存修復時診療補助【講義/基礎実習】充填	熊谷 祐菜
9	11月28日	保存修復時診療補助【相互実習】	熊谷 祐菜
10	11月28日	保存修復時診療補助【相互実習】	熊谷 祐菜
11	12月5日	片顎印象採得【相互実習】	熊谷 祐菜
12	12月5日	石膏注入【相互実習】	熊谷 祐菜
13	12月12日	補綴【講義】Br・FMC等特徴と製作手順	熊谷 祐菜
14	12月12日	補綴【基礎実習】金属研磨	熊谷 祐菜
15	12月15日	保存修復時診療補助【講義】圧排/分離/隔壁	熊谷 祐菜

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
16	12月15日	保存修復時診療補助【基礎実習】圧排/分離/隔壁	熊谷 祐菜
17	12月19日	ゴム質印象材【講義】	熊谷 祐菜
18	12月19日	ゴム質印象材【基礎実習】	熊谷 祐菜
19	12月22日	口腔内写真【講義/基礎実習】	熊谷 祐菜
20	12月22日	全身疾患【自習学習】	熊谷 祐菜
21	12月25日	医療安全事故と対策【講義】歯科診療における偶発事故	熊谷 祐菜
22	12月25日	医療安全事故と対策【講義】歯科診療における偶発事故	熊谷 祐菜
23	1月5日	ラバーダム防湿【講義】	熊谷 祐菜
24	1月5日	ラバーダム防湿【基礎実習】	熊谷 祐菜
25	1月8日	ラバーダム防湿【相互実習】	熊谷 祐菜
26	1月8日	ラバーダム防湿【相互実習】	熊谷 祐菜
27	1月9日	寒天印象材【講義】	熊谷 祐菜
28	1月9日	寒天印象材【基礎実習】	熊谷 祐菜
29	1月16日	ワックス・咬合採得【講義/基礎実習】各種特徴・取り扱い	熊谷 祐菜
30	1月16日	歯科診療補綴Ⅱ(2)まとめ	熊谷 祐菜
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版(医歯薬出版)/最新歯科衛生士教本「歯科機器」「歯科材料」(医歯薬出版)/その他各項目に必要な教本
成績評価法	定期試験を基本とし、小テスト、提出物、授業態度などを加味して評価します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	歯科材料学		担当教員	柴崎・須田	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☐ 前期 ☒ 後期		学 年	1 学年	単位数	1

【一般目標（GIO）】

歯科治療には金属、セラミックス、レジンなど多種類の材料を駆使して歯の欠損を補い、口腔機能の回復を図るために使用される。その治療に用いられる種々の歯科材料は、口腔内で短時間に使用するものから、口腔内で長期に機能を維持するものまでである。それら歯科材料の性質を理解し、その材料が最も有効に利用でき、正しい選択と取り扱い方法を修得することを目指す。

【到達目標（SBO）】

一連の歯科診療補助で扱う歯科材料の種類とその用途を把握することで、歯科材料への理解を深める。また、実際に取り扱うことを意識しながら、材料に要求される性質を把握することで、適切な材料を適切な方法で取り扱うことができる能力を身に付ける。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	11月27日	歯科材料概論／修復物の製作過程	須田 駿一
2	11月27日	歯科材料の科学／歯冠修復材料	須田 駿一
3	12月 4日	印象材I	須田 駿一
4	12月 4日	印象材II／模型材	須田 駿一
5	12月11日	合着／接着用材料	柴崎 翔
6	12月11日	成形修復材／予防填塞材	柴崎 翔
7	12月18日	義歯床用材料／歯科用レジン／ワックス	柴崎 翔
8	12月18日	切削研磨／インプラント材料／まとめ	柴崎 翔
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー 教員授業終了後、教室にて質問を受けます。

教科書・参考書	参考図書：歯科衛生学シリーズ 歯科材料 全国歯科衛生士教育協議会（監修）
成績評価法	定期試験
備考・実務経験等	<u>大学附属歯科病院他にて歯科医師として歯科医療従事経験</u>

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 前期時間割

第2学年

齒科衛生士科Ⅱ部

(2024年度入学生・15期生)

時限	1					2						
時間	18:00 ～ 19:30					19:40 ～ 21:10						
月	文章表現論 石附		歯科保健指導Ⅱ 小川	予防的歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	歯科保健指導Ⅱ 小川		予防的歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口			
火	小児歯科学 高橋		臨床検査学 小林	予防的歯石除去法Ⅱ 田口	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	高齢者歯科学 下山	歯科保健指導Ⅱ 小川	予防的歯石除去法Ⅱ 田口		う蝕予防処置法Ⅱ 熊谷		
水	障害者歯科学 小平		予防的歯石除去法Ⅱ 田口		う蝕予防処置法Ⅱ 田口		予防的歯石除去法Ⅱ 田口		う蝕予防処置法Ⅱ 田口			
木	歯科矯正学 八城	インプラント ・審美歯科学 積田	介護・応急処置 角	歯科衛生士概論Ⅱ 西ノ原	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	総合研究 西ノ原	歯科矯正学 八城	インプラント ・審美歯科学 積田	介護・応急処置 角	歯科衛生士概論Ⅱ 西ノ原	う蝕予防処置法Ⅱ 田口	総合研究 西ノ原
金	歯科診療補助実習Ⅲ 熊谷					歯科診療補助実習Ⅲ 熊谷						
土	予 備 日											

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 後期時間割

第2学年

齒科衛生士科Ⅱ部

(2024年度入学生・15期生)

時限	1				2			
時間	18:00 ～ 19:30				19:40 ～ 21:10			
月	臨 床 実 習							
火	臨 床 実 習							
水	臨 床 実 習							
木	歯科放射線学 和光	衛生統計学 植野	衛生行政 植野	総合研究 西ノ原	歯科放射線学 和光	保険事務 伊藤（淳）	礼儀作法 久保田	総合研究 西ノ原
金	臨 床 実 習							
土	予 備 日							

2025年度

シラバス

2年生

【前期】

- ①総合研究
- ②社会福祉
- ③歯科衛生士概論Ⅱ
- ④歯科矯正学
- ⑤小児歯科学
- ⑥障害者歯科学
- ⑦高齢者歯科学
- ⑧予防的歯石除去法Ⅱ
- ⑨う蝕予防処置法Ⅱ
- ⑩歯科保健指導Ⅱ
- ⑪歯科診療補助実習Ⅲ
- ⑫臨床検査学
- ⑬インプラント・審美歯科学
- ⑭介護・応急処置
- ⑮文章表現論

【後期】

- ①衛生行政
- ②衛生統計学
- ③歯科放射線学
- ④保険事務
- ⑤礼儀作法

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	総合研究		担当教員	西ノ原 陽子	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期	☒ 後期	学 年	2 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

基礎知識に基づき、研究・実験する力を身につける技術を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) いろいろなことに興味を持つことができる
- 2) 調べる力を身に着けることができる
- 3) 実験や研究の結果を予測し、行動することができる
- 4) 結果をまとめ、発表することができる
- 5) 保健行動の理論が説明できる
- 6) 歯科衛生活動の過程を説明できる

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	9月 6日	集団ワーク 1	西ノ原 陽子
2	9月 6日	集団ワーク 2	西ノ原 陽子
3	9月18日	集団ワーク 3	西ノ原 陽子
4	9月18日	集団ワーク 4	西ノ原 陽子
5	3月12日	個人ワーク 1	西ノ原 陽子
6	3月12日	個人ワーク 2	西ノ原 陽子
7	3月19日	まとめ	西ノ原 陽子
8	3月19日	総復習	西ノ原 陽子
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	必要時、配布資料を参考にする
成績評価法	授業態度、レポート提出などを加味して評価します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☒ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野					
授業科目名	社会福祉学		担当教員	田中 剛	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	2 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

社会福祉学とは乳幼児・児童・高齢者・障害者・生活困窮者等社会的弱者を対象とした福祉の増進や権利の擁護、そのための援助の方法や技術、福祉政策など社会的基盤と構造を考える学問である。

社会福祉とは狭義には社会保障の一分野であるが、広義には「人々の基本的ニーズに対応し、社会秩序がより良く機能するために強化し、条件を整備するための、法律・施策・援助・サービス体系」とされている。

本講義では歯科衛生士として必要な知識である社会保障に関連する法および制度とサービス体系、特に社会保険・公的扶助・社会福祉の分野を取り上げ、それらの体系的理解と知識の習得を目標とする。

【 到達目標（S B O） 】

- ・乳幼児・児童・高齢者・障害者・生活困窮者等の社会的弱者の今日的課題を説明できる。
- ・わが国における社会保険・公的扶助・社会福祉分野の法制度およびサービス体系を説明できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7月 3日	社会福祉学 概説	田中 剛
2	7月10日	医療保険制度	田中 剛
3	7月17日	年金保険・労働者災害補償保険・雇用保険制度	田中 剛
4	7月24日	介護保険制度（サービス体系）	田中 剛
5	7月31日	介護保険制度（高齢者施策等）	田中 剛
6	8月 7日	公的扶助・生活保護制度	田中 剛
7	8月28日	障害者福祉制度	田中 剛
8	9月 4日	女性・こども・高齢者福祉制度・授業まとめ	田中 剛
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	ここをクリックまたはタップしてテキストを入力してください。
成績評価法	定期試験
備考・実務経験等	<u>介護施設にて介護福祉士として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	歯科衛生士概論Ⅱ		担当教員	西ノ原 陽子	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	2 学年	単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

歯科衛生業務を実践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 医の倫理および歯科衛生と倫理について説明できる
- 2) 予防の概念を説明できる
- 3) クリティカル・シンキングの意義を説明できる
- 4) 歯科衛生業務記録の意義を説明できる
- 5) インフォームド・コンセントにおける患者・家族と医療者の権利と義務を説明できる

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7月 3日	歯科衛生士と歯科衛生業務①	西ノ原 陽子
2	7月10日	歯科衛生士と歯科衛生業務②	西ノ原 陽子
3	7月17日	歯科衛生士と医療倫理	西ノ原 陽子
4	7月24日	歯科衛生研究と医療倫理	西ノ原 陽子
5	7月31日	歯科衛生士の活動と組織	西ノ原 陽子
6	8月 7日	歯科衛生士の活動の場	西ノ原 陽子
7	8月28日	海外における歯科衛生士の活動	西ノ原 陽子
8	9月 4日	歯科衛生士概論 総まとめ	西ノ原 陽子
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」 医歯薬出版
成績評価法	定期試験を基本とし、確認テスト・授業態度などを加味して評価します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科矯正学		担当教員	八城 祐一
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

矯正臨床における診療介助や患者対応に必要な歯科矯正学の基礎知識を習得することを目的とする。

【到達目標（SBO）】

- 1) 正常咬合の特徴および不正咬合の分類と成因を説明できる。
- 3) 不正咬合の診断に必要な診査および分析を説明できる
- 5) 矯正力の種類とにそれに対する歯周組織の反応を説明できる。
- 6) 矯正装置の種類や使用目的を説明できる。
- 7) 矯正治療に使用する器具・材料の特徴と使用法（操作手順）を説明できる。
- 8) 矯正治療の補助および矯正患者管理の際の注意点を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月 5日	歯科矯正学概論／成長発育	八城 祐一
2	6月 5日	正常咬合と不正咬合	八城 祐一
3	6月12日	検査・分析・診断	八城 祐一
4	6月12日	矯正力とその生体反応／固定	八城 祐一
5	6月19日	矯正材料と矯正器械・器具	八城 祐一
6	6月19日	矯正装置／保定	八城 祐一
7	6月26日	矯正治療法	八城 祐一
8	6月26日	矯正治療と歯科衛生業務	八城 祐一
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：授業終了後、質問のある方は質問を受けます。

教科書・参考書	医歯薬出版：歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 第2版」（監修：全国歯科衛生士教育協議会）
成績評価法	定期試験、レポート等により総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野		
授業科目名	小児歯科学			担当教員	高橋 智秀	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	2 学年		単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

小児の成長・発育を理解し、この時期にみられる口腔疾患の診査・診断に必要な歯・歯周組織・骨の正常な発育過程を学ぶ。その上で、小児の口腔疾患の予防と治療に関する臨床的特徴と実際の治療法・予防法の基本を理解する。

【 到達目標（S B O） 】

小児歯科では、特に暦年齢と歯年齢を対比して考える必要があり、常にこの2つを考慮していること。
身体の発育と歯・歯列の成長発育を関連付けて捉え、主にこれらを障害する異常や疾患を学習する。
特に、この時期に特有な、乳歯と幼若永久歯に適応される治療法と予防法の臨床的特徴を学習する。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 1日	心身の発達 生理的特徴	高橋 智秀
2	4月 8日	乳歯・永久歯の発育 乳歯・幼若永久歯の特徴	高橋 智秀
3	4月15日	乳歯・永久歯の異常（歯数・形態・構造・色調）	高橋 智秀
4	4月22日	乳歯・永久歯の異常（萌出） 歯列・咬合の発育	高橋 智秀
5	5月13日	歯列・咬合の異常	高橋 智秀
6	5月20日	小児の歯科疾患（う蝕、歯周疾患、軟組織疾患） う蝕予防	高橋 智秀
7	5月27日	小児歯科診療 1	高橋 智秀
8	6月 3日	小児歯科診療 2 小児歯科診療での歯科衛生士の役割	高橋 智秀
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 小児歯科（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	障害者歯科学		担当教員	小平 裕恵
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

さまざまな障害を理解し、スペシャルニーズのある人たちが安全に歯科医療を受け、そして口腔機能維持するために対応法、口腔衛生管理、多職種連携についての知識を身に着ける。

【到達目標（SBO）】

- 1) 障害者の概念を説明できる。
- 2) 障害の種類を列挙し障害の特徴と歯科治療時の注意点を説明できる。
- 3) コミュニケーションの方法と行動療法について説明できる。
- 4) 障害別の口腔衛生管理を説明できる。
- 5) 障害者歯科におけるリスク、安全管理、感染対策を説明できる。
- 6) 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 2日	障害の概念、地域における障害者歯科	小平 裕恵
2	4月 9日	歯科医療で特別な支援が必要な疾患①	小平 裕恵
3	4月16日	歯科医療で特別な支援が必要な疾患②	小平 裕恵
4	4月23日	歯科医療で特別な支援が必要な疾患③	小平 裕恵
5	4月30日	歯科医療で特別な支援が必要な疾患④	小平 裕恵
6	5月 7日	障害者の歯科医療と行動調整	小平 裕恵
7	5月14日	健康支援と口腔衛生管理、リスク評価と安全管理	小平 裕恵
8	5月21日	摂食・嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割	小平 裕恵
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。メール(kodaira-h@tsurumi-u.ac.jp)ではいつでも受け付けます。

教科書・参考書	教科書：歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 第1版 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
成績評価法	定期試験と受講態度により総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>大学歯学部附属病院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☒ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	高齢者歯科学		担当教員	下山 和弘	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	2 学年	単位数 1

【 一般目標（G I O） 】

高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の心身および口腔の特徴、高齢者において配慮すべき疾患、高齢者の口腔健康管理についての基礎知識を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

- 1) 高齢者の置かれた社会環境について説明できる。
- 2) 高齢者の心身の特徴と加齢変化について説明できる。
- 3) 口腔・咽頭領域の加齢変化について説明できる。
- 4) 摂食嚥下機能と障害について概説できる。
- 5) 摂食嚥下リハビリテーションについて概説できる。
- 6) 高齢者において配慮すべき疾患について概説できる。

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 1日	高齢社会と健康	下山 和弘
2	4月 8日	身体的機能の加齢変化	下山 和弘
3	4月15日	口腔・咽頭領域の加齢変化	下山 和弘
4	4月22日	高齢者の精神・心理	下山 和弘
5	5月13日	摂食嚥下障害の評価	下山 和弘
6	5月20日	摂食嚥下リハビリテーション	下山 和弘
7	5月27日	高齢者において配慮が必要な疾患	下山 和弘
8	6月 3日	高齢者において配慮が必要な疾患	下山 和弘
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	教科書 最新 歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 、医歯薬出版
成績評価法	定期試験、レポートの点を加味する。
備考・実務経験等	<u>大学歯学部附属病院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	予防的歯石除去法Ⅱ		担当教員	田口 菜穂子
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	3

【一般目標（GIO）】

口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を習得する

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯科予防処置を実施する際に把握すべき対象者の情報を説明できる
- 2) 歯周病と全身疾患の関係を説明できる
- 3) プローブの種類と操作方法を説明できる
- 4) 歯・歯肉・口腔の検査ができる
- 5) 診査の結果を説明できる
- 6) キュレットスケーラーを操作できる
- 7) 超音波スケーラー、エアスケーラーの操作ができる
- 8) シャープニングができる
- 9) 歯面清掃器材の種類と使用方法を説明できる
- 10) 歯面清掃ができる
- 11) SPTの目的を説明できる
- 12) 歯周病におけるメインテナンスの目的を説明できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 2日	プロービング 講義	田口 菜穂子
2	4月 9日	プロービング 基礎実習	田口 菜穂子
3	4月16日	キュレットスケーラー 講義	田口 菜穂子
4	4月23日	キュレットスケーラー操作 基礎実習	田口 菜穂子
5	5月14日	キュレットスケーラー操作 1	田口 菜穂子
6	5月21日	キュレットスケーラー操作 2	田口 菜穂子
7	5月30日	キュレットスケーラー操作 3	田口 菜穂子
8	5月30日	キュレットスケーラー操作 4	田口 菜穂子
9	6月11日	キュレットスケーラー操作 5	田口 菜穂子
10	6月11日	キュレットスケーラー操作 6	田口 菜穂子
11	6月18日	キュレットスケーラー操作 7	田口 菜穂子
12	6月18日	キュレットスケーラー操作 8	田口 菜穂子
13	7月 2日	キュレットスケーラー操作 9	田口 菜穂子
14	7月 2日	キュレットスケーラー操作10	田口 菜穂子
15	7月 9日	キュレットスケーラー操作11	田口 菜穂子

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
16	7月 9日	キュレットスケーラー操作12	田口 菜穂子
17	7月16日	キュレットスケーラー操作 復習	田口 菜穂子
18	7月16日	相互実習について	田口 菜穂子
19	7月22日	実技復習（プロービング、シックルスケーラー）	田口 菜穂子
20	7月28日	口腔内診査相互実習 1	田口 菜穂子
21	7月28日	口腔内診査相互実習 1	田口 菜穂子
22	7月29日	キュレットスケーラー操作 実技試験	田口 菜穂子
23	7月30日	口腔内診査相互実習 2	田口 菜穂子
24	7月30日	口腔内診査相互実習 2	田口 菜穂子
25	8月 4日	口腔内診査相互実習 3	田口 菜穂子
26	8月 4日	口腔内診査相互実習 3	田口 菜穂子
27	8月 5日	PMTc、歯面清掃器 講義	田口 菜穂子
28	8月 5日	PMTc、歯面清掃器 基礎実習	田口 菜穂子
29	8月19日	スケーリング相互実習 1	田口 菜穂子
30	8月19日	スケーリング相互実習 1	田口 菜穂子
31	8月25日	スケーリング相互実習 2	田口 菜穂子
32	8月25日	スケーリング相互実習 2	田口 菜穂子
33	8月26日	超音波スケーラー、エアスケーラー 講義	田口 菜穂子
34	8月26日	超音波スケーラー、エアスケーラー 基礎実習	田口 菜穂子
35	8月27日	スケーリング相互実習 3	田口 菜穂子
36	8月27日	スケーリング相互実習 3	田口 菜穂子
37	9月 1日	スケーリング相互実習 4	田口 菜穂子
38	9月 1日	スケーリング相互実習 4	田口 菜穂子
39	9月 3日	スケーリング相互実習 5	田口 菜穂子
40	9月 3日	スケーリング相互実習 5	田口 菜穂子
41	9月 8日	スケーリング相互実習 6	田口 菜穂子
42	9月 8日	スケーリング相互実習 6	田口 菜穂子
43	9月 9日	シャープニング 講義	田口 菜穂子

44	9月 9日	シャープニング 実習	田口 菜穂子
45	9月10日	まとめ	田口 菜穂子
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）、歯周病学（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験・実技試験・提出物・出席状況・学習態度などを総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	う蝕予防処置法Ⅱ		担当教員	田口 菜穂子
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 公衆歯科衛生（地域歯科）活動と集団応用に応じたう蝕予防処置や指導を把握できる
- 2) う蝕リスク判定のために行う う蝕活動性試験の目的と種類を説明できる
- 3) う蝕活動性試験を実施できる
- 4) 対象者のう蝕活動性を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる
- 5) フッ化物歯面塗布を実施できる
- 6) 小窩裂溝充填材の種類と特徴を説明できる
- 7) 小窩裂溝充填法の適応歯と術式を説明できる
- 8) う蝕予防処置におけるメンテナンスの目的を説明できる
- 9) う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を説明できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月30日	う蝕のリスクとリスクコントロール 1	田口 菜穂子
2	5月 7日	う蝕のリスクとリスクコントロール 2	田口 菜穂子
3	5月24日	う蝕活動性試験 講義	田口 菜穂子
4	5月24日	う蝕活動性試験 実習 1	田口 菜穂子
5	5月28日	う蝕活動性試験 実習 2	田口 菜穂子
6	5月28日	演習問題①	田口 菜穂子
7	6月25日	小窩裂溝充填法 講義	田口 菜穂子
8	6月25日	小窩裂溝充填法 基礎実習	田口 菜穂子
9	7月23日	公衆歯科衛生（地域歯科）活動とう蝕予防処置の集団応用	田口 菜穂子
10	7月23日	演習問題②	田口 菜穂子
11	9月 2日	う蝕予防プログラム	田口 菜穂子
12	9月 2日	う蝕予防プログラム	田口 菜穂子
13	9月10日	演習問題③	田口 菜穂子
14	9月11日	フッ化物歯面塗布 相互実習	田口 菜穂子
15	9月11日	フッ化物歯面塗布 相互実習	田口 菜穂子

※オフィスアワー 教員授業終了後 9 階講師控室にて質問を受けます。

教科書・参考書	歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)、保健生態学(医歯薬出版)
成績評価法	定期試験、出席状況、授業・実習態度、提出物などを総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科保健指導Ⅱ		担当教員	小川 磨美
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

歯科保健指導における歯科衛生士の役割を理解し、専門的な立場から助言・援助できる知識と能力の充実をはかる

【到達目標（SBO）】

- 1) プラーク・歯石の指数および歯周疾患の指数について概説できる
- 2) 各ライフステージの一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる
- 3) 各ライフステージにおけるプロフェッショナルケアとセルフケアの歯科保健の目標を説明できる
- 4) 各ライフステージの特徴に合った必要な栄養素とその摂取基準を説明できる
- 5) 各ライフステージの食生活指導を実施できる
- 6) 各ライフステージの歯科保健行動を実施できる
- 7) 摂食・嚥下の仕組みについて概説できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 7日	1年次の復習	小川 磨美
2	4月14日	口腔清掃指導法	小川 磨美
3	4月19日	各種指数について①プラーク・歯石の指数（PCR・OHI・OHI-S・P1 I・PHP）	小川 磨美
4	4月19日	各種指数について②プラーク・歯石の指数（PCR・OHI・OHI-S・P1 I・PHP）	小川 磨美
5	4月21日	各種指数について③歯周疾患の指数（PMA・PI・GI・CPI・根分岐部検査の指数）	小川 磨美
6	4月28日	復習（口腔清掃指導法・各種指数）	小川 磨美
7	5月 2日	キューピーUDF食 セミナー①	小川 磨美
8	5月 2日	キューピーUDF食 セミナー②	小川 磨美
9	5月12日	ライフステージにおける歯科衛生介入①妊産婦期（1）	小川 磨美
10	5月19日	ライフステージにおける歯科衛生介入①妊産婦期（2）	小川 磨美
11	5月26日	ライフステージにおける歯科衛生介入②乳幼児期（1）	小川 磨美
12	6月 2日	ライフステージにおける歯科衛生介入②乳幼児期（2）	小川 磨美
13	6月10日	ライフステージにおける歯科衛生介入③幼児期（1）	小川 磨美
14	6月16日	ライフステージにおける歯科衛生介入③幼児期（2）	小川 磨美
15	6月16日	ライフステージにおける歯科衛生介入④学童期（1）	小川 磨美

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
16	6月17日	ライフステージにおける歯科衛生介入④学童期（2）	小川 磨美
17	6月23日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑤青年期（1）	小川 磨美
18	6月23日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑤青年期（2）	小川 磨美
19	6月24日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑥成人期（1）	小川 磨美
20	6月30日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑥成人期（2）	小川 磨美
21	6月30日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑦老年期（1）	小川 磨美
22	7月 1日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑦老年期（2）	小川 磨美
23	7月 7日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑧要介護高齢者（1）	小川 磨美
24	7月 7日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑧要介護高齢者（2）	小川 磨美
25	7月 8日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑨障害児・者（1）	小川 磨美
26	7月12日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑨障害児・者（2）	小川 磨美
27	7月12日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑩摂食嚥障害患者（1）	小川 磨美
28	7月14日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑩摂食嚥障害患者（2）	小川 磨美
29	7月14日	ライフステージにおける歯科衛生介入⑪大規模災害	小川 磨美
30	7月15日	まとめ	小川 磨美
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
成績評価法	定期試験（ポストテスト、レポートなどを加味する）により総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>大学歯学部附属病院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科診療補助実習Ⅲ		担当教員	熊谷 祐菜
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	3

【一般目標（GIO）】

【講義】

各専門科目講義終了項目が多数です。知識の整理を行い、歯科衛生士として、また後期臨床実習に適応・応用できるよう必要な知識・実技・態度を修得する

【実習】

専門科目講義や補助での講義・課題・実習での考察を重ね、共同動作・患者の安全を意識し、臨床実習への準備を積極的にすすめる。

【到達目標（SBO）】

- ①保存修復治療 ④歯科補綴治療 ⑦矯正歯科治療 ⑩障害者歯科治療
- ②歯内療法 ⑤口腔外科治療 ⑧小児歯科治療
- ③歯周外科治療 ⑥歯科麻酔 ⑨高齢者歯科治療

- 1) ①～⑩の項目において、特徴を説明でき、手順に沿った器材を準備することができる。
- 2) 全身疾患や周術期における口腔機能管理について、概要と役割を述べることができる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月4日	仮封材【講義/基礎実習】	熊谷 祐菜
2	4月4日	歯周治療時診療補助【講義/基礎実習】イニシャルプレパレーション	熊谷 祐菜
3	4月11日	口腔外科治療時診療補助【講義/基礎実習】	熊谷 祐菜
4	4月11日	口腔外科治療時診療補助【講義/基礎実習】	熊谷 祐菜
5	4月18日	歯周外科治療時診療補助【講義/基礎実習】	熊谷 祐菜
6	4月18日	歯周外科治療時診療補助【講義/基礎実習】	熊谷 祐菜
7	4月25日	高齢者・有病者患者対応【講義】	小川 磨美
8	4月25日	高齢者。有病者患者対応【講義】	小川 磨美
9	5月9日	口腔機能管理【講義】	小川 磨美
10	5月9日	口腔機能管理【講義】	小川 磨美
11	5月16日	矯正歯科治療時診療補助【講義】	熊谷 祐菜
12	5月16日	矯正歯科治療時診療補助【基礎試験】	熊谷 祐菜
13	5月23日	小児患者対応【講義】	熊谷 祐菜
14	5月23日	小児患者対応【基礎実習】	熊谷 祐菜
15	5月30日	障害者患者対応【講義】	熊谷 祐菜

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
16	5月30日	暫間被覆冠【講義】	熊谷 祐菜
17	6月6日	暫間被覆冠【基礎実習】	熊谷 祐菜
18	6月6日	暫間被覆冠【基礎実習】	熊谷 祐菜
19	6月7日	暫間被覆冠【基礎実習】	熊谷 祐菜
20	6月7日	暫間被覆冠【基礎実習】	熊谷 祐菜
21	6月9日	歯内療法治療時診療補助【講義】	熊谷 祐菜
22	6月9日	歯内療法治療時診療補助【講義】	熊谷 祐菜
23	6月13日	歯内療法治療時診療補助【講義】	熊谷 祐菜
24	6月13日	歯内療法治療時診療補助【講義】	熊谷 祐菜
25	6月20日	インプラント治療時診療補助【講義】	熊谷 祐菜
26	6月20日	周術期等口腔機能管理【講義】	熊谷 祐菜
27	6月27日	補綴・義歯【講義】	熊谷 祐菜
28	6月27日	補綴・義歯【基礎実習】	熊谷 祐菜
29	7月4日	全顎印象採得【基礎実習】	熊谷 祐菜
30	7月4日	全顎印象採得【基礎実習】	熊谷 祐菜
31	7月11日	全顎印象採得【相互実習】	熊谷 祐菜
32	7月11日	全顎印象採得【相互実習】	熊谷 祐菜
33	7月18日	ホワイトニング【講義】	熊谷 祐菜
34	7月18日	ホワイトニング【基礎実習】	熊谷 祐菜
35	7月25日	校外実習(仮)	熊谷 祐菜
36	7月25日	校外実習(仮)	熊谷 祐菜
37	8月1日	寒天印象採得【相互実習】	熊谷 祐菜
38	8月1日	寒天印象採得【相互実習】	熊谷 祐菜
39	8月8日	酸素療法・CPR・AED【講義】	熊谷 祐菜
40	8月8日	酸素療法・CPR・AED【講義】	熊谷 祐菜
41	8月29日	エックス線・口内法・口外法【講義】	熊谷 祐菜
42	8月29日	エックス線・口内法。口外法【講義】	熊谷 祐菜
43	9月5日	エックス線・口内法・口外法【基礎実習】	熊谷 祐菜

44	9月5日	エックス線・口内法・口外法【基礎実習】	熊谷 祐菜
45	9月12日	まとめ【講義】	熊谷 祐菜
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版(医歯薬出版)/最新歯科衛生士教本「歯科機器」「歯科材料」(医歯薬出版)/その他各項目に必要な教本
成績評価法	定期試験を基本とし、小テスト、提出物、授業態度などを加味して評価します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	臨床検査学		担当教員	小林 隆志
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

医療従事者として、医療現場で実施されてる臨床検査の種類や検査データの解釈などを理解し、基本的な臨床検査の知識を修得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 臨床検査の意義、基準範囲の考え方が説明できる。
- 2) バイタルサインの測定法を説明できる。
- 3) 生体検査の種類や検査項目を列举できる。
- 4) 検体検査の種類とその材料を列举できる。
- 5) 代表的な疾患の検査データが説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月10日	ガイダンス、臨床検査とは（必要性・種類など）、基準値とは	小林 隆志
2	6月17日	生体検査（バイタルサイン、循環機能検査など）	小林 隆志
3	6月24日	生体検査（呼吸機能検査、神経筋感覚機能検査など）	小林 隆志
4	7月 1日	検体検査（血液検査、生化学的検査など）	小林 隆志
5	7月 8日	検体検査（感染症・免疫学的検査、病理検査など）	小林 隆志
6	7月15日	主な疾患の検査（悪性腫瘍、糖尿病、ネフローゼなど）	小林 隆志
7	7月22日	主な疾患の検査（膠原病、アレルギー疾患など）	小林 隆志
8	7月29日	総まとめ・演習	小林 隆志
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	医歯薬出版社 歯科衛生学シリーズ 臨床検査
成績評価法	定期試験で行う。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	インプラント・審美歯科学		担当教員	積田 光由
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

口腔インプラント治療を提供するために必要な基本的知識を修得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) インプラントについて説明できる。
- 2) オッセオインテグレーションについて説明できる。
- 3) 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを説明できる。
- 4) インプラント治療における医療面接、インフォームドコンセントを理解できる。
- 5) インプラント補綴における治療計画を説明できる。
- 6) 上部構造の種類とデザイン、固定方法を説明できる。
- 7) インプラント体の埋入術式を説明できる。
- 8) インプラントの印象採得、咬合採得の方法を説明できる。
- 9) メインテナンスの必要性を理解する。
- 10) インプラントのメインテナンス術式を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	5月 8日	口腔インプラントのための基礎知識	積田 光由
2	5月 8日	インプラント治療の流れ（診査・診断・治療計画）	積田 光由
3	5月15日	インプラントの基本構造と使用器具・器材	積田 光由
4	5月15日	外科手術（インプラント体埋入手術とその関連手術）	積田 光由
5	5月22日	補綴術式（1 歯欠損から無歯顎までの補綴方法）	積田 光由
6	5月22日	インプラント治療のアシスタントワーク	積田 光由
7	5月29日	審美歯科（オールセラミックレストレーション）	積田 光由
8	5月29日	リコールとメインテナンス	積田 光由
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	配布プリント
成績評価法	定期試験（ポストテスト、レポートなどを加味する）により総合的に評価する

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☒ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	介護・応急処置		担当教員	角 祥太郎	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	2 学年	単位数 1

【 一般目標（G I O）】

介護とは、高齢、または心身の障害により日常生活を営むことが困難な人に対し、生活の自立を図ること、また、自立不可能な場合は現状を維持することを目的として、日常生活動作、家事、健康管理、社会活動の援助を行うことをいう。歯科衛生士として、要介護者に対して健康増進のカギとなる口腔機能の維持、または改善を担う責任があり、そのために、介護全体についての基本的な知識を身につける必要がある。介護支援している際の緊急時や災害時などの対処法を日ごろから体得しておくことも非常に重要なことである。この授業を通して、それらの基本的な知識、技術を身につけることを目標とする。

【 到達目標（S B O）】

- 1) 介護とは、介護の基本、介護の心得について理解し概説できる。
- 2) 介護の実際・地域包括ケアシステムについて理解する。
- 3) 要介護者の口腔ケアについて理解し、概説できる。
- 4) 要介護者の摂食嚥下障害を理解し、その改善方法を概説できる。
- 5) 要介護者に対して、適切な対応を身につける。
- 6) 災害時における口腔ケアについて様々な状況下での対応ができる。
- 7) 救急蘇生法、および種々の応急処置を理解し、概説できる。
- 8) 歯科診療時における偶発症を理解し、その防止、また、緊急時での応急処置ができる。

【 授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	6月 5日	介護とは、介護の基本、介護の心得について	角 祥太郎
2	6月 5日	介護の実際	角 祥太郎
3	6月12日	要介護者の口腔ケアについて	角 祥太郎
4	6月12日	要介護者の摂食、嚥下障害について	角 祥太郎
5	6月19日	要介護者（高齢者、障害者）への対応	角 祥太郎
6	6月19日	災害時における口腔ケアについて	角 祥太郎
7	6月26日	救命・応急処置について	角 祥太郎
8	6月26日	歯科診療時における偶発症と応急処置	角 祥太郎
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：教員授業終了後、9回講師控室にて質問を受けます。

教科書・参考書	配布資料
成績評価法	定期試験（小テストやレポートを加味する）により、総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	文章表現論		担当教員	石附 鈴之介	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	2 学年	単位数	1

【一般目標（GIO）】

- ・文章を論理的に読む力の養成。
- ・文章を読み、様々な状況を考える力の養成。
- ・対象（人・作品・事象現象など）に即した文章を書く力の養成。
- ・自分の問いを見出し、自分の探求を進める力の養成。
- ・授業内容はあくまで予定で、受講生の興味に応じて変更する場合があります。

【到達目標（SBO）】

- 1) 文章の論理構造を正確に把握することができる。
- 2) 自分の力で文章の内容と形式を適切に修正することができる。
- 3) 文献から得た知識を自分の発表や執筆物に活かすことができる。
- 4) 自分の探求を進めることができる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 7日	オリエンテーションと文献講読の準備	石附 鈴之介
2	4月14日	文献講読	石附 鈴之介
3	4月21日	文献講読	石附 鈴之介
4	4月28日	文献講読	石附 鈴之介
5	5月12日	文献講読と発表	石附 鈴之介
6	5月19日	文献講読と発表	石附 鈴之介
7	5月26日	文献講読と発表	石附 鈴之介
8	6月 2日	文献講読と発表	石附 鈴之介
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 授業終了後、3F教員室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	参考書：野矢茂樹『大人のための国語ゼミ』筑摩書房 参考書：木下是雄『理科系の作文技術』中公新書 その他、授業内配布資料
成績評価法	定期試験・発表・執筆物（レポート含む）により評価する。

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☒ 専門基礎分野 ☐ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	衛生行政		担当教員	植野 正之	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☐ 前期 ☒ 後期		学 年	2 学年	単位数 1

【一般目標（GIO）】

社会情勢の変化とともに医療への要望も多様化している。私たちは医療従事者として衛生行政を理解しておかなければならない。歯科衛生士の資格を得て診療にたずさわるものとして、歯科衛生士法を正しく理解し、医療人としての心構えや業務内容の確認に関する法と現状について把握する。

【到達目標（SBO）】

授業のみならず、新聞やニュースにも意識を向けて、社会全体に興味を持つこと。衛生行政は刻々と変化するものです。それに対応できるアンテナを常に持ち続けて下さい。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	12月25日	衛生行政の意義・プロフェッショナリズム	植野 正之
2	1月 8日	歯科衛生士と関連法規	植野 正之
3	1月15日	医療関係職種とその法規	植野 正之
4	1月22日	その他の関連法規	植野 正之
5	1月29日	社会保障	植野 正之
6	2月 5日	社会福祉	植野 正之
7	2月12日	医療安全対策	植野 正之
8	2月19日	歯科医療保険制度	植野 正之
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	
成績評価法	定期試験・授業姿勢・レポートの点数も加味します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☒ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	衛生統計学		担当教員	植野 正之
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

個人および集団の歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するための保健情報を収集し、問題を発見し、活動計画を立案し、実施し、評価するための衛生統計の基本的手法を習得する。

【到達目標（SBO）】

- 保健情報と保健統計を説明できる。
- 疫学の定義と目的を説明できる。
- 記述統計で用いる基本的指標を説明できる。
- 口腔清掃状態および歯科疾患の指標を説明できる。
- 保健情報と保健統計の分析・検定手順を説明できる。
- 疫学で用いる手法を説明できる。
- 日本の人口の現状および推移を説明できる。
- 出生および死亡の指標を説明できる。
- 日本の保健統計調査を説明できる。
- 世界の保健統計調査を説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月30日	基本統計学・う蝕に関する指標	植野 正之
2	11月 6日	疫学・統計学的検定法	植野 正之
3	11月13日	データの収集・スクリーニング	植野 正之
4	11月20日	口腔清掃に関する指標	植野 正之
5	11月27日	歯周疾患およびその他の指標	植野 正之
6	12月 4日	日本の統計調査	植野 正之
7	12月11日	口腔保健関連の統計調査	植野 正之
8	12月18日	フッ化物・フッ化物イオン濃度の計算	植野 正之
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：教員授業開始前と終了後に9階講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学、医歯薬出版
成績評価法	定期試験（小テストやレポート等を加味する）により総合的に評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科放射線学		担当教員	和光 衛
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

エックス線の取り扱いと関連事項についての基本的知識を習得し、歯科衛生士の歯科診療補助業務としての役割、重要性ならびに歯科診療環境に対応した診療放射線のもつ意義を知る。

【到達目標（SBO）】

1. 放射線の種類・性質・影響について習得し説明できる。 2. 1)エックス線発生機序 2)口内法の種類と特徴 について習得し説明できる 3. パノラマ撮影の特殊性について説明できる。4. 口内法、パノラマ撮影における診療補助内容を習得する。 5. 1) 画像解剖 2)デジタル画像とアナログ画像の違いについて習得する。6. 口外法,特殊画像検査の特徴と目的について説明できる。7. 1)写真処理と診療補助内容 2)放射線治療の概要と口腔ケアについて習得する。8. 放射線被曝のメカニズムと防護対策について習得し説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月 2日	ヒト・歯科医療とエックス線の関わり、放射線の影響	和光 衛
2	10月 2日	エックス線画像の形成と口内法エックス線撮影（1）	和光 衛
3	10月 9日	口内法エックス線撮影（2）と歯科衛生士の役割 パノラマエックス線撮影と歯科衛生士の役割	和光 衛
4	10月 9日	エックス線解剖と失敗例、デジタル画像とその保存・管理・ネットワーク構築 （中間テスト課題配布）	和光 衛
5	10月16日	口外法エックス線撮影と特殊画像検査（CBCT, CT, MRI, US, VF, 核医学検査）	和光 衛
6	10月16日	写真・画像処理と保管、放射線治療	和光 衛
7	10月23日	放射線被ばく、生物学的作用および放射線防護	和光 衛
8	10月23日	総合学習（問題演習）	和光 衛
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

オフィスアワー：授業終了後、質問を講義室で受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修
成績評価法	定期試験（中間テスト課題の提出内容も加味する）によって評価する。
備考・実務経験等	<u>歯科医療センターにて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☒ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	保険事務		担当教員	伊藤 淳二	授業形態 ☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☐ 前期 ☒ 後期		学 年	2 学年	単位数 1

【一般目標（GIO）】

保険事務は、歯科衛生士の診療補助業務の一つであり、受付での患者対応、カルテ記載、保険証の入力、歯科保険の点数計算や入力、レセプトの請求などが含まれ、また歯科保険制度、療養担当規則など医療重要事項もあるため歯科衛生士としてこれらの最小限の知識を身につけることが必要である。

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯科の受付に必要なものは何か、また、歯科受付業務などがどのようなものかを理解し概説できる。
- 2) 初診時の患者が十分満足できるよう、適切な患者対応を身につける。
- 3) 診療録：カルテの内容、記載方法を十分理解する。
- 4) カルテに記載される略号、病名について理解し、概説できる。
- 5) 歯科医療保険制度を理解し、概説できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月30日	歯科診療時の受付の重要性	伊藤 淳二
2	11月 6日	患者さんとの対応について	伊藤 淳二
3	11月13日	カルテの記載、入力および記載されている略称、病名について	伊藤 淳二
4	11月20日	日本の医療保険制度、歯科医療について	伊藤 淳二
5	11月27日	国民健康保険と社会保険について	伊藤 淳二
6	12月 4日	歯科診療報酬点数表について	伊藤 淳二
7	12月11日	点数算定の方法について（Ⅰ）	伊藤 淳二
8	12月18日	点数算定方法について（Ⅱ：各論）	伊藤 淳二
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	受付事務と医療保険制度（アイ・サービス）、歯科医療事務・症例と解説（アイ・デンタルサービス）
成績評価法	定期試験（ポストテスト、レポートなどを加味する）により総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☒ 選択必修分野
授業科目名	礼儀作法		担当教員	久保田 晶子
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	2 学年
			単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

- コミュニケーションスキルの重要性を理解し 歯科衛生士として様々な場面で患者さんの気持ちに寄り添った対応ができるようになること
- 歯科衛生士としてだけでなく一人の大人として恥ずかしくない礼儀作法・マナーを身につける
- 歯科医院のレベルアップに貢献し 質の高い医療サービスを提供できるようになること

【 到達目標（S B O） 】

- 一般マナー・礼儀作法を学び、社会の一員としての自覚、組織の一員としての立場や役割を理解する
- ビジネスマナーを理解し医療従事者としての印象を良くする
- 相手の気持ちに配慮した話し方、聞き方などのコミュニケーションスキルを身につける
- 歯科医療サービスに対するニーズの変化に対応できるような臨機応変なコミュニケーション能力を習得する

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	12月25日	オリエンテーション・全体の流れの説明・礼儀作法・マナーを学ぶ必要性・ビジネスパーソンへの心構え・挨拶の重要性	久保田 晶子
2	1月 8日	コミュニケーションの真実・潜在意識とコミュニケーションの関係・第一印象の重要性・笑顔の作り方等	久保田 晶子
3	1月15日	社会人に必要な基本的マナー（身だしなみ・言葉遣い・立ち居振る舞い）・敬語の使い方の実践等	久保田 晶子
4	1月22日	ビジネスパーソンへのマナーの基本（電話対応・クレーム対応・メール・名刺交換等）	久保田 晶子
5	1月29日	一般マナー（食事のマナー・お酒のマナー・冠婚葬祭等）	久保田 晶子
6	2月 5日	しきたりの基本を学ぶ	久保田 晶子
7	2月12日	実践練習（ロールプレイングでの実践練習）	久保田 晶子
8	2月19日	患者さんの期待値を超えるために必要なこと・歯科衛生士として輝くために全体のまとめ	久保田 晶子
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	講師作成のテキストのコピー（各回毎）
成績評価法	筆記・レポート

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 前期時間割

第3学年

齒科衛生士科Ⅱ部

(2023年度入学生・14期生)

時限	1				2			
時間	18:00 ～ 19:30				19:40 ～ 21:10			
月	臨 床 実 習							
火	臨 床 実 習							
水	臨 床 実 習							
木	予防医学 齋藤・岡村・伊藤	歯科保健指導Ⅲ 小川	情報科学Ⅱ 伊藤（淳）	口腔機能管理学 下山	予防医学 齋藤・岡村・伊藤	歯科保健指導Ⅲ 小川	情報科学Ⅱ 伊藤（淳）	口腔機能管理学 下山
金	臨 床 実 習							
	予 備 日							

2025年度 歯科衛生士科Ⅱ部 後期時間割

第3学年

歯科衛生士科Ⅱ部 (2023年度入学生・14期生)

時限	1			2		
時間	18:00 ～ 19:30			19:40 ～ 21:10		
月	臨 床 実 習		歯科医学総論	臨 床 実 習		歯科医学総論
火	臨 床 実 習		歯科医学総論	臨 床 実 習		歯科医学総論
水	臨 床 実 習		歯科医学総論	臨 床 実 習		歯科医学総論
木	予防の歯石除去法Ⅲ 西ノ原	歯科保健指導Ⅳ 小川	歯科医学総論	予防の歯石除去法Ⅲ 西ノ原	歯科保健指導Ⅳ 小川	歯科医学総論
金	臨 床 実 習		歯科医学総論	臨 床 実 習		歯科医学総論
	予 備 日					

2025年度

シラバス

3 年生

【前期】

- ①情報科学Ⅱ(医療事務)
- ②予防医学
- ③歯科保健指導Ⅲ
(口腔機能管理学)

【後期】

- ①予防的歯石除去法Ⅲ
- ②歯科保健指導Ⅳ
- ③歯科医学総論
- ④臨地・臨床実習

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	情報科学Ⅱ		担当教員	伊藤 淳二
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	3 学年
			単位数	1

【 一般目標（G I O） 】

- ・点数早見表を活用し、カルテを作成する
- ・カルテを元に、カルテ入力をする

【 到達目標（S B O） 】

- 1) カルテを見て治療の流れが把握出来る
- 2) 保険診療と自由診療の違いを理解する

【 授業内容 】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7月 3日	医療保険制度講義Ⅰ 患者情報入力実習	伊藤 淳二
2	7月 3日	カルテ作成実習（歯周治療Ⅰ）	伊藤 淳二
3	7月10日	医療保険制度講義Ⅱ 薬剤処方講義実習	伊藤 淳二
4	7月10日	カルテ作成実習（歯周治療Ⅱ・抜歯）	伊藤 淳二
5	7月17日	医療保険制度講義Ⅲ 患者提供文書・領収書発行・摘要欄記載講義	伊藤 淳二
6	7月17日	カルテ作成実習（抜歯・欠損修復Ⅰ・歯内療法・齦蝕処置）	伊藤 淳二
7	7月24日	カルテ作成実習（欠損修復Ⅱ）	伊藤 淳二
8	7月24日	カルテ作成実習（欠損修復Ⅲ）レセプト業務講義実習	伊藤 淳二
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 授業終了後に9階講師控室にて質問を受けます。

教科書・参考書	アイデンタルサービス『症例と解説』
成績評価法	定期試験、出席状況、授業態度、提出物などを加味して総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☒ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☐ 選択必修分野	
授業科目名	予防医学		担当教員	齋藤・岡村・伊藤	授業形態	☒ 講義 ☐ 実習
開講時期	☒ 前期 ☐ 後期		学 年	3 学年	単位数	1

【一般目標（GIO）】

1. 全身疾患を考えながら口腔疾患の診断と治療が進められるように、全身疾患および口腔疾患についてそれぞれの基礎と病態およびその関連を理解する。
2. 高齢者をはじめ、様々な全身疾患をもった人たちの歯科治療を行うに際して、それら全身疾患を把握し、歯科治療が全身に及ぼす影響を、また全身疾患が歯科治療に与える影響について理解する。

【到達目標（SBO）】

1. 口腔に発生する疾患を病態別に列挙し説明できる。
2. 主たる全身疾患を病態別に列挙し説明できる。
3. 口腔と全身の関連性について歯科治療上の問題点を列挙し説明できる。
4. 検査・診断方法を列挙し説明できる。
5. 高齢者、全身疾患を抱える人たちの医学的、心理社会的問題について理解し説明できる。
6. 安全に歯科治療を行う上で、注意する全身疾患を列挙し、歯科治療が全身に及ぼす影響について説明できる。また全身疾患が歯科治療に及ぼす影響について説明できる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	4月 3日	オーラルメディシンとは・ 医科歯科の連携・総合病院におけるチーム医療	岡村 将宏
2	4月 3日	口腔疾患の診断と治療に関連する全身疾患 1： 血液疾患・循環器疾患	岡村 将宏
3	4月10日	口腔疾患の診断と治療に関連する全身疾患 2： 呼吸器疾患・消化器疾患・泌尿器疾患	伊藤 泰隆
4	4月10日	口腔疾患の診断と治療に関連する全身疾患 3： 代謝内分泌疾患・アレルギー・自己免疫疾患・口腔心身症	伊藤 泰隆
5	4月17日	口腔疾患の診断と治療に関連する全身疾患 4： 脳血管疾患・摂食嚥下障害・睡眠呼吸疾患・妊産婦	齋藤 寛一
6	4月17日	高齢者医学： 要介護の原因となる疾患・高齢者の口腔管理・栄養管理	齋藤 寛一
7	4月24日	口腔粘膜疾患の治療と診断	岡村 将宏
8	4月24日	歯科医療とリハビリテーション： 口腔ケア・緩和ケア・周術期等の口腔機能管理	岡村 将宏
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	口腔内科学・歯科のための内科学（参考書）
成績評価法	定期試験・小テスト
備考・実務経験等	<u>歯科大学病院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野		☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野		
授業科目名	歯科保健指導Ⅲ（口腔機能管理学）			担当教員	下山 和弘	授業形態	☒ 講義 ☒ 実習
開講時期	☒ 前期		☐ 後期	学 年	3 学年	単位数	2

【 一般目標（G I O） 】			
【講義】 口腔機能を多面的に理解するために、口腔機能の基本的知識を習得する。			
【実習】 講義で習得した口腔機能に関する知識を確実なものとするために、口腔機能の実践的な知識と評価方法を習得する。			
【 到達目標（S B O） 】			
1) 咀嚼が心身に及ぼす影響を説明できる。 2) 栄養評価について概説できる。 3) 咀嚼能力検査法について概説できる。 4) 唾液の役割と唾液分泌量測定法について概説できる。 5) 発声発語器官の評価法について概説できる。 6) 嚥下機能の評価法について概説できる。			
【 授業内容 】			
回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	7月31日	講義：口腔機能管理概論	下山 和弘
2	7月31日	演習：咀嚼が心身に及ぼす影響	下山 和弘
3	8月 7日	講義：栄養評価と人工的栄養法	下山 和弘
4	8月 7日	演習：栄養評価を中心とした患者理解	下山 和弘
5	9月 4日	講義：咀嚼能力検査法概論	下山 和弘
6	9月 4日	演習：咀嚼能力検査法による評価	下山 和弘
7	9月11日	講義：唾液に関する基礎知識	下山 和弘
8	9月11日	演習：唾液分泌量の測定	下山 和弘
9	9月18日	講義：発声発語器官に関する基礎知識	下山 和弘
10	9月18日	演習：発声発語器官の評価、嚥下機能の評価	下山 和弘
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	教科書 最新 歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 、医歯薬出版
成績評価法	定期試験、授業に取り組む態度、プロダクトの評価など、総合的な評価を行う。
備考・実務経験等	<u>歯科大学附属病院にて歯科医師として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科保健指導Ⅲ		担当教員	小川 磨美
開講時期	☒ 前期	☐ 後期	学 年	3 学年
			単位数	2

【一般目標（GIO）】

対象とする人の歯科衛生ニーズにあった支援をするために、理論的に思考し、問題発見および解決するための過程を習得する

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる
- 2) 歯科衛生アセスメントについて説明できる
- 3) 歯科衛生診断について説明できる
- 4) 歯科衛生計画立案について説明できる
- 5) 歯科衛生介入について説明できる
- 6) 歯科衛生評価について説明できる
- 7) 歯科衛生過程における書面化（記録）について説明できる
- 8) 歯科保健指導の対象者に合わせた媒体を作製できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	5月 8日	歯科衛生過程（歯科衛生アセスメント①）	小川 磨美
2	5月 8日	歯科衛生過程（歯科衛生アセスメント②）	小川 磨美
3	5月15日	歯科衛生過程（歯科衛生診断）	小川 磨美
4	5月15日	歯科衛生過程（歯科衛生計画立案）	小川 磨美
5	5月22日	歯科衛生過程（歯科衛生介入）	小川 磨美
6	5月22日	歯科衛生過程（歯科衛生評価）	小川 磨美
7	5月29日	医療面接	小川 磨美
8	5月29日	歯科衛生アセスメントのための情報収集と処理①	小川 磨美
9	6月 5日	歯科衛生アセスメントのための情報収集処理②	小川 磨美
10	6月 5日	歯科衛生過程<演習①>	小川 磨美
11	6月12日	歯科衛生過程<演習②>	小川 磨美
12	6月12日	個人指導用媒体作成①	小川 磨美
13	6月19日	個人指導用媒体作製②	小川 磨美
14	6月19日	個人指導用媒体作製③	小川 磨美
15	6月26日	個人指導用媒体作製④	小川 磨美

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
16	6月26日	個人指導用媒体作成⑤	小川 磨美
17	8月21日	個人指導用媒体作製⑥	小川 磨美
18	8月21日	まとめ	小川 磨美
19	8月28日	ウエルテック株式会社<コンクールブランド「予防歯科」実践セミナー>	小川 磨美
20	8月28日	ウエルテック株式会社<コンクールブランド「予防歯科」実践セミナー>	小川 磨美
21	月 日		
22	月 日		
23	月 日		
24	月 日		
25	月 日		
26	月 日		
27	月 日		
28	月 日		
29	月 日		
30	月 日		
※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。			

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
成績評価法	定期試験（ポストテスト、レポートなどを加味する）により総合的に評価する
備考・実務経験等	<u>大学歯学部附属病院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	予防的歯石除去法Ⅲ		担当教員	西ノ原 陽子
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	3 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

1・2学年で習得した知識・技術・態度を基に、対象者にそれらを応用・駆使できる総合能力の充実を図る。

【到達目標（SBO）】

- 1) 歯科衛生過程を概説できる
- 2) 歯科衛生アセスメントを説明できる
- 3) 歯科衛生計画を説明できる
- 4) 歯科衛生介入を説明できる
- 5) 歯科衛生業務記録の意義を説明できる
- 6) 歯科衛生評価における評価を説明できる

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	10月 2日	歯科衛生過程とは	西ノ原 陽子
2	10月 2日	歯科衛生アセスメント	西ノ原 陽子
3	10月 4日	歯科衛生アセスメント（問診・口腔内診査）	西ノ原 陽子
4	10月 4日	歯科衛生アセスメント（問診・口腔内診査）	西ノ原 陽子
5	10月9日	歯科衛生診断	西ノ原 陽子
6	10月9日	歯科衛生計画の立案	西ノ原 陽子
7	10月16日	プロービング・スケーラー（上顎）操作復習	西ノ原 陽子
8	10月16日	プロービング・スケーラー（上顎）操作復習	西ノ原 陽子
9	10月23日	歯科衛生介入①	西ノ原 陽子
10	10月23日	歯科衛生介入②	西ノ原 陽子
11	10月25日	プロービング・スケーラー（下顎）操作復習	西ノ原 陽子
12	10月25日	プロービング・スケーラー（下顎）操作復習	西ノ原 陽子
13	10月30日	歯科衛生評価	西ノ原 陽子
14	10月30日	演習問題	西ノ原 陽子
15	11月 6日	まとめ	

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科予防処置・歯科保健指導論（医歯薬出版） 歯科衛生学総論（医歯薬出版社）
成績評価法	提出物、授業態度、出席状況などを総合的に評価
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☒ 専門分野	☐ 選択必修分野
授業科目名	歯科保健指導Ⅳ		担当教員	小川 磨美
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	3 学年
			単位数	1

【一般目標（GIO）】

地域保健活動の場面に必要な基本的知識を身につける。健康と疾病の概念を理解し、人々の歯および健康の増進をサポートできる能力を習得する。

【到達目標（SBO）】

- 1) 個人を対象とした歯科保健指導の実践力を身につける。
- 2) 口腔疾患予防のための手段と対象者の健康づくりを支援する能力を養うことができる。
- 3) 歯科衛生教育活動における歯科衛生士の役割を説明できる。
- 4) 歯科衛生教育活動の対象となる地域・機関の特性を把握することができる。
- 5) 喫煙者に対する指導の方法を説明できる。
- 6) 各症例について分析し、問題点を抽出することができる。
- 7) 高齢者の生活機能の評価について説明することができる。
- 8) 摂食嚥下のスクリーニングテストについて説明することができる。

【授業内容】

回	日 時	授 業 内 容	担当教員
1	11月 6日	地域歯科保健活動①	小川 磨美
2	11月13日	高齢者の機能評価①	小川 磨美
3	11月13日	高齢者の機能評価②	小川 磨美
4	11月20日	摂食嚥下スクリーニング①	小川 磨美
5	11月20日	摂食嚥下スクリーニング②	小川 磨美
6	11月27日	摂食嚥下機能療法①	小川 磨美
7	11月27日	摂食嚥下機能療法②	小川 磨美
8	11月29日	歯科保健指導 症例検討・中間まとめ	小川 磨美
9	11月29日	歯科保健指導案作成・準備	小川 磨美
10	12月 4日	歯科保健指導<演習①>	小川 磨美
11	12月 4日	歯科保健指導<演習②>	小川 磨美
12	12月10日	歯科保健指導演習後 振り返り①	小川 磨美
13	12月10日	歯科保健指導演習後 振り返り②	小川 磨美
14	12月11日	禁煙支援	小川 磨美
15	12月11日	まとめ	小川 磨美

※オフィスアワー 教員授業終了後、9F講師控室にて質問を受け付けます。

教科書・参考書	歯科衛生学シリーズ 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」（医歯薬出版）
成績評価法	定期試験、確認テスト、提出物や出席状況を合わせて評価する。
備考・実務経験等	<u>大学歯学部附属病院にて歯科衛生士として勤務経験</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野	☐ 専門基礎分野	☐ 専門分野	☒ 選択必修分野
授業科目名	歯科医学総論		担当教員	角祥太郎・塩崎一成・植野正之・大島朋子・田村幸彦 他
開講時期	☐ 前期	☒ 後期	学 年	3 学年
			単位数	5

【 一般目標（G I O） 】

3年間の歯科衛生士養成カリキュラムで学習した分野のうち、歯科衛生士国家試験に関わる専門基礎分野、専門分野について国家試験対策として総合的な講義を行う。また、現代の歯科衛生士に求められる最新の専門知識を習得する。

【 到達目標（S B O） 】

専門基礎分野・専門分野の科目に対する総合的講義を受け、歯科衛生士に必要な知識の総復習を行うことにより、歯科衛生士専門科目と科目間の関連性に対する理解を深めることができる。

【 授業内容 】

1	人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能（解剖学）	16	臨床歯科医学（歯周治療学）
2	人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能（生理学）	17	臨床歯科医学（歯科補綴学）
3	歯・口腔の構造と機能（組織・発生学）	18	臨床歯科医学（口腔外科学）
4	歯・口腔の構造と機能（口腔解剖学）	19	臨床歯科医学（歯科矯正学）
5	歯・口腔の構造と機能（歯牙解剖学）	20	臨床歯科医学（小児歯科学）
6	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（病理学）	21	臨床歯科医学（障害者歯科学）
7	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（微生物学）	22	臨床歯科医学（高齢者歯科学）
8	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（薬理学）	23	歯科予防処置論（予防的歯石除去法Ⅰ）
9	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（栄養学）	24	歯科保健指導論（歯科保健指導Ⅰ）
10	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（口腔衛生学）	25	歯科診療補助論（歯科診療補助論Ⅰ）
11	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（衛生・公衆衛生学）		
12	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（衛生行政）		
13	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（衛生統計学）		
14	臨床歯科医学（保存修復学）		
15	臨床歯科医学（歯内療法学）		

教科書・参考書	各学年で使用した教科書：歯科衛生士教本全般。それぞれ各科目の配布資料。
成績評価法	各科目ごとの演習総合点と課題提出等により総合的に評価します。
備考・実務経験等	<u>歯科医院にて歯科医師として勤務</u>

歯科衛生士科Ⅱ部

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

科目区分	☐ 基礎分野 ☐ 専門基礎分野 ☒ 専門分野 ☐ 選択必修分野				
授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	実習指導者	授業形態 ☐ 講義 ☒ 実習
開講時期	☒ 前期 ☒ 後期		学 年	2・3 学年	単位数 20

【一般目標（GIO）】

2年次で学習した知識や経験をさらに確実なものにするため、一般歯科診療所で臨床実習を行う。学内で習得した知識・技能・態度を臨床実習の場において実践する能力や、さまざまな現場で活躍する歯科衛生士の役割を理解し将来の歯科衛生士像を具体化することを目的とする。

【到達目標（SBO）】

- 1) 医療人としての倫理観やコミュニケーション能力が身に付き応用できる。
- 2) 口腔健康管理を実施するための知識と技能が身に付き実践できる。
- 3) 患者の安全に配慮したアシスタントワークが実践できる。
- 4) 実習指導者の指示の下、安全に配慮した歯石除去、歯面研磨、う蝕予防処置を実践できる。

【授業内容】

第Ⅰ期（3か月・3か月）

一般・矯正・小児歯科

- ・各診療内容の細かな流れを理解する
- ・歯科用器具器材の取扱い方法を理解する
- ・協同動作を学ぶ
- ・歯科材料、薬剤の取り扱いを修得する

第Ⅱ期（5か月・3ヶ月）

一般・矯正・小児歯科

- ・協同動作を理解し、実践できる
- ・対面、直接行為を実践できる
- ・歯科材料、薬剤の取り扱いを修得する。
- ・実習総仕上げ（各自の課題から目標を設定し、最終仕上げ）

教科書・参考書	各学年で使用した教科書：歯科衛生士教本全般
成績評価法	臨床実習指導者による実習評価と実習帳・課題レポートの期限内提出とその内容を総合的に評価します。
備考・実務経験等	<u>実習指導者は歯科医院にて歯科医師・歯科衛生士として勤務</u>